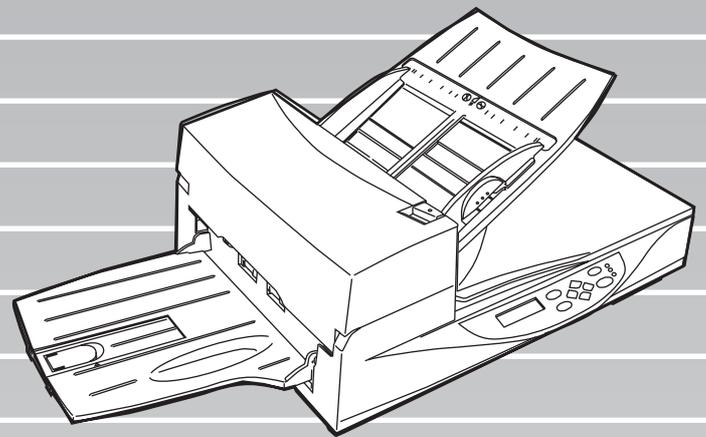




P3PC-E832-06

fi-4340C イメージスキャナ オペレータガイド



FUJITSU

版数履歴

版数	発行日	改訂内容
01	2001 年 10 月	初版
02	-	-
03	2003 年 8 月	第 3 版
04	2004 年 10 月	第 4 版
05	2005 年 4 月	第 5 版
06	2006 年 6 月	第 6 版
マニュアルコード : P3PC-E832-06		

注

本マニュアルは USB / SCSI 両インタフェース付きの fi-4340C 用について説明しています。SCSI インタフェースのみの fi-4340C については USB インタフェース関係の記述は適用されませんのでご注意願います。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。
また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国で統一されています。



電源高調波抑制について

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのごお願い

この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いします。

当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。
- 本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。
- 本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。
- 本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。

<http://eco.fujitsu.com/jp>



いつも地球を見守っている

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条、
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

商標および登録商標について

Microsoft®、Windows® および WindowsNT® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Server operating system Version4.0 日本語版、 Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version4.0 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright © 株式会社 PFU 2006

警告ラベルについて

当製品には以下のような警告ラベルが貼付けされてあります。

本スキャナ使用時はこのラベルが貼り付けてある ADF 内部のガラスは高温になります。火傷をするおそれがありますので十分注意してください。



警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。



本文中の表記について

警告／注意の表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。



絵記号の意味

三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、おこなってはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



白抜き丸で示した記号は、必ず従っていただきたい内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



その他の表示マークについて

本書では、説明する内容により、以下の記号を使用しています。



本装置を使う際の使い方のヒント、便利な機能、参考にしていただきたい内容について説明しています。必要に応じてお読みください。

目次

第 1 章	はじめに	
	はじめに	1-2
	安全上のご注意	1-3
第 2 章	お使いになる前に	
	梱包品の確認	2-2
	各部の名称と働き	2-3
	操作パネル	2-6
第 3 章	スキャナの設置	
	装置ラベルの確認	3-2
	設置手順	3-3
第 4 章	ソフトウェアのインストール	
	インストールについて	4-2
第 5 章	スキャナの使用方法	
	電源の投入	5-2
	スキャナの低電力モードからの起動について	5-3
	手挿入モードの設定	5-4
	原稿のセット（自動給紙の場合）	5-5
	原稿のセット（フラットベッドの場合）	5-9
	大きな原稿の読み取りについて	5-10
	厚い原稿の読み取りについて	5-11
	紙詰まりが発生したときは	5-12
第 6 章	自動給紙（ADF）をお使いいただく際に	
	原稿のサイズ	6-2
	原稿の紙質	6-3
	ADF にセットできる原稿の枚数	6-5
	穴をあけてはいけない領域	6-6
	背景色の領域の制限	6-7
	マルチフィードの検出条件	6-8
	ジョブ区切りシート	6-9
第 7 章	操作パネルのメッセージについて	
	カウンタ表示	7-2
	操作状態のメッセージ	7-3
	一時的なエラーメッセージ	7-5
	アラーム（装置異常）	7-6
第 8 章	セットアップモードについて	
	セットアップモードの起動について	8-2
	セットアップモードの内容について	8-3
第 9 章	困ったときに	
	困った時には	9-2

第 10 章 消耗品とオプション

消耗品	10-2
本スキャナのオプション	10-3
fi-475VI (ビデオインタフェースボード) について	10-4
fi-IPC4D (画像処理ボード) について	10-9
fi-434PR (インプリンタ) について	10-10
fi-475CMP3 (画像圧縮ボード) について	10-11

第 11 章 スキャナの仕様

装置基本仕様	11-2
設置仕様	11-3
外形寸法	11-4

索引	IN-1
----------	------

修理・お問い合わせについて	RM-1
---------------------	------

第 1 章

はじめに

第1章

第 2 章

お使いになる前に

第2章

第 3 章

スキャナの設置

第3章

第 4 章

ソフトウェアのインストール

第4章

第 5 章

スキャナの使用方法

第5章

第 6 章

自動給紙（ADF）をお使いいただく際に

第6章

第 7 章

操作パネルのメッセージについて

第7章

第 8 章

セットアップモードについて

第8章

第 9 章

困ったときに

第9章

第 10 章

消耗品とオプション

第10章

スキャナの仕様

スキャナの仕様

索引

索引

1

はじめに

この章では、安全上の注意について説明しています。

はじめに 1-2

安全上のご注意 1-3

はじめに

このたびは、fi-4340C イメージスキャナ装置をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本スキャナの機能を十分発揮させるために、本書に従って正しくご使用ください。このマニュアルは、fi-4340C イメージスキャナの使い方について説明しています。

本書は、以下の各章から構成されています。巻末には索引があります。

本書の構成

本書をお読みになる前に

- 1 はじめに
- 2 お使いになる前に
- 3 スキャナの設置
- 4 ソフトウェアのインストール
- 5 スキャナの使用方法
- 6 自動給紙（ADF）をお使いいただく際に
- 7 操作パネルのメッセージについて
- 8 セットアップモードについて
- 9 困ったときに
- 10 消耗品とオプション
- 11 スキャナの仕様

fi-4340C の日常の操作については、CD-ROM「清掃と保守のガイド」を参照してください。

CD-ROM「清掃と保守のガイド」には、「操作のしかた」、「清掃のしかた」、「部品の交換」、「異常時の処置」があります。

fi-4340C は高速、多機能のカラーイメージスキャナで、カラー CCD（電荷結合デバイス）イメージセンサーを採用して、高品質なカラー画像を得ることができます。また、オートマチックドキュメントフィーダ（ADF）を使用することで、両面を高速に処理することができます。

安全上のご注意

■ 警告

本書に記載されている重要な警告事項は以下のとおりです。

電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源プラグの金属部、および金属部の取付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

内部に水や異物を入れない



開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

オプション機器の取り付けや取り外しの時は、電源プラグをコンセントから抜く



オプション機器の取付けや取外しを行う場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに、それぞれの手順に従って行ってください。



電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。

本装置は日本国内専用です



本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンター）にご連絡ください。

濡れた場所に設置しない



濡れる恐れのある場所には本装置を設置しないでください。

■ 注意

本書に記載されている注意事項は以下のとおりです。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

アース線を接続する



この装置はアース線の接続を必要としています。電源ケーブルは必ず3ピンのコンセントに接続してください。アース線の接続ができない場合は、販売会社（または保守サービスセンター）にご相談ください。

装置を不安定なところに置かない



スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

通気口をふさがない



通気口をふさぎますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷が鳴り出したらすぐに電源ケーブルをコンセントから抜く



近くで雷が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。入れたままにしておきますと、装置が破損することがあります。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

2

お使いになる前に

スキャナを開梱したら、すべての構成部品が入っているかを確認してください。この章では、梱包品の確認、スキャナ装置の各部の名称とその働き、および操作パネルの配列と機能について説明しています。

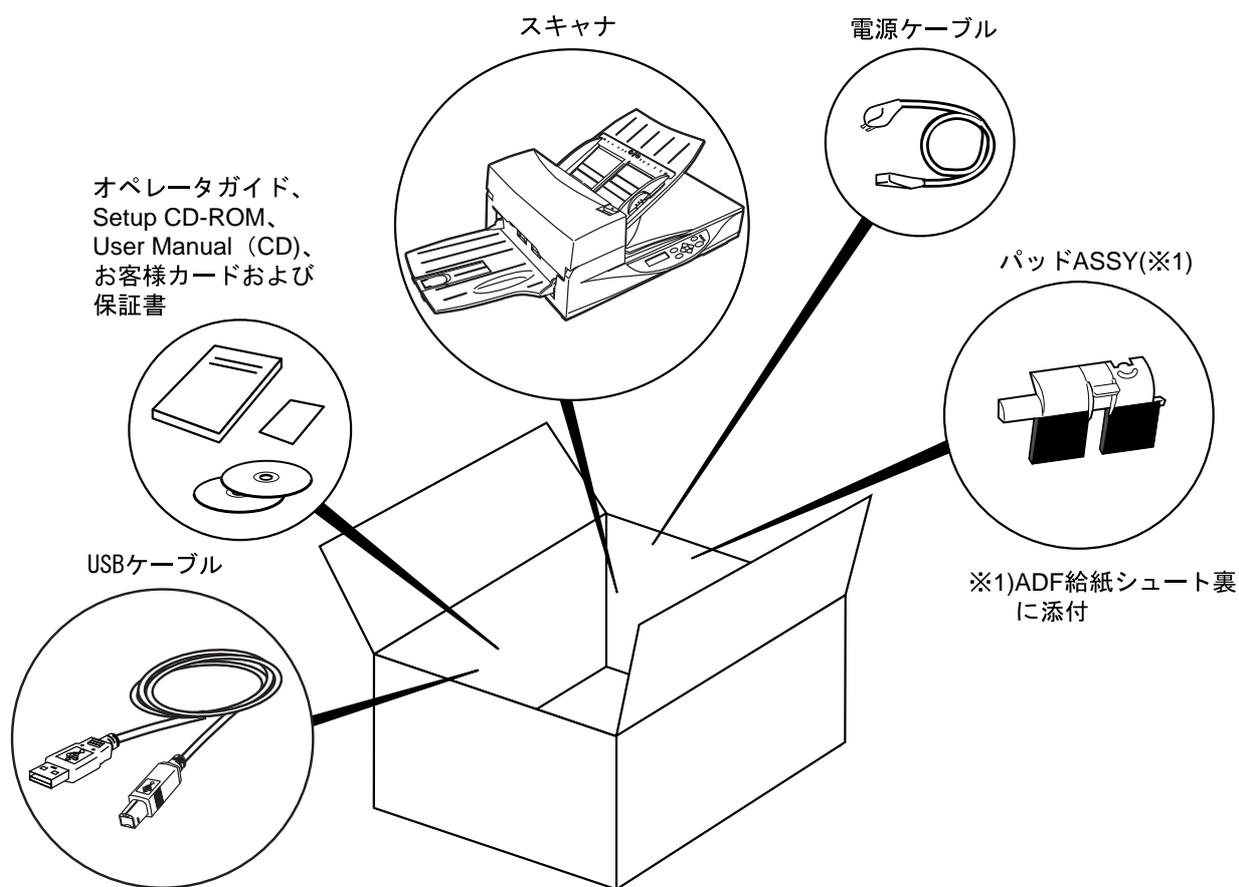
梱包品の確認	2-2
各部の名称と働き	2-3
操作パネル	2-6

梱包品の確認

本装置の梱包品は高精度ですので、十分注意して取り扱ってください。

以下の図に示すすべての梱包品があることを確認してください。

見つからない梱包品があれば、販売代理店、または巻末のイメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。



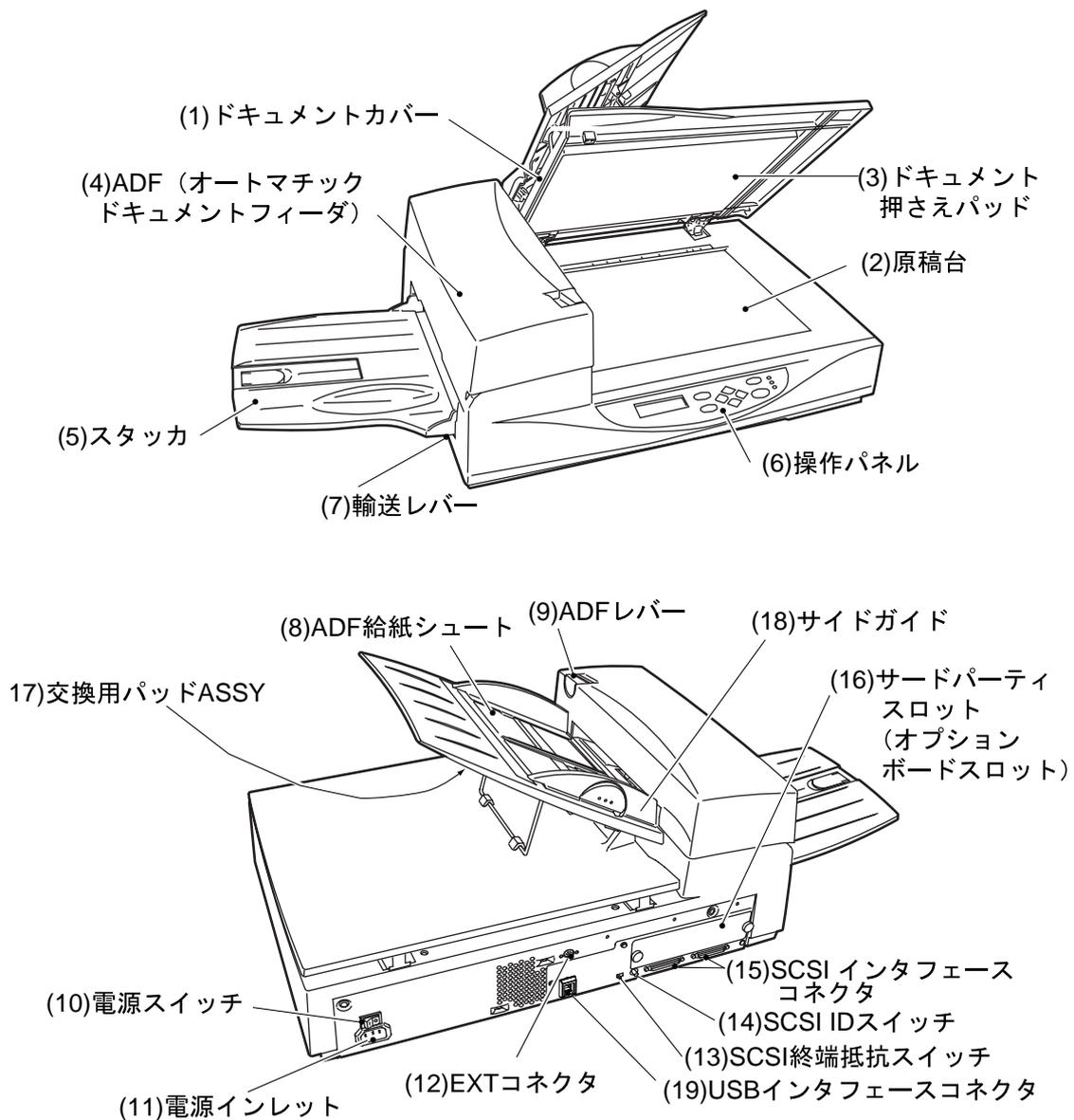
注

「清掃と保守のガイド」および本書は User Manual CD-ROM に含まれます。

各部の名称と働き

ここでは、スキャナの外形図と組立品を示します。各部品の名前とそれらの機能についても説明します。

■ ユニット

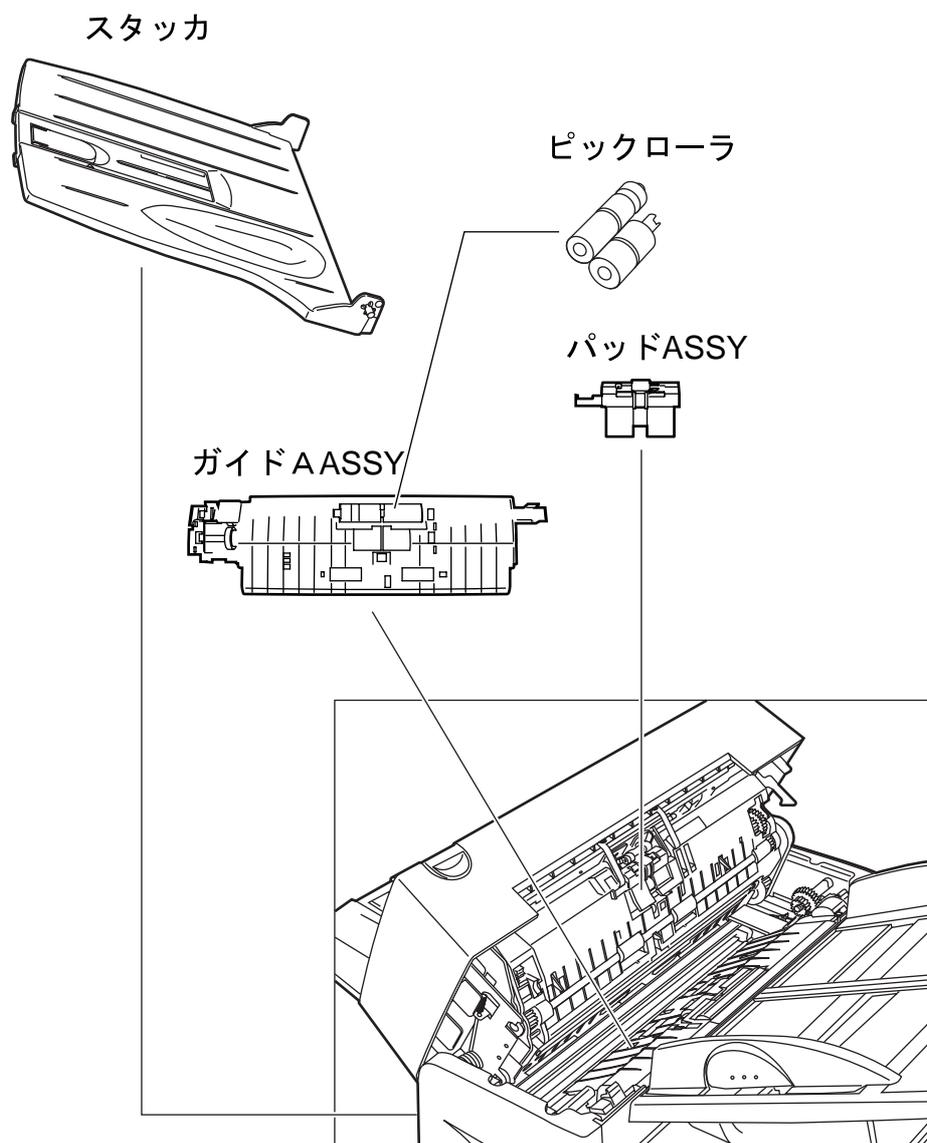


注

スキャナを使用する際は、輸送レバーを解除の位置に切り替えてください。輸送レバーについては、“3 スキャナの設置”の“輸送レバーの解除 (3-3)”を参照してください。

No.	名称	機能
1	ドキュメントカバー	閉めると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。
2	原稿台	1枚ずつ読み取る場合、ここに原稿を置きます。フラットベッドとも呼ばれます。
3	ドキュメント押さえパッド	原稿を原稿台に押しつけます。
4	ADF (オートマチックドキュメントフィーダ)	原稿を読み取り位置まで自動的に繰り込みます。
5	スタッカ	読み取られた原稿が積み重なります。
6	操作パネル	スキャナを操作するために使用します。LCDにはスキャナの状態が表示されます。
7	輸送レバー	キャリアユニットを固定します。工場出荷時はロック状態になっています。
8	ADF 給紙シュート	複数枚の原稿を読み取る場合に使用します。
9	ADF レバー	ADF内で紙詰まりが起きた場合、原稿を取り除くために開きます。
10	電源スイッチ	電源を投入/切断するために使用します。
11	電源インレット	ACの電源コンセントからの電源ケーブルを接続します。
12	EXT コネクタ	インプリンタオプション接続用のコネクタです。
13	SCSI 終端抵抗スイッチ	本装置が SCSI の最終端になる場合は「ON」、それ以外の場合は「OFF」にします。
14	SCSI-ID スイッチ	SCSI-ID を設定します (出荷時の設定は ID=5)。
15	SCSI インタフェースコネクタ	ホストシステムからの SCSI インタフェースケーブルを接続します。
16	サードパーティスロット (オプションボードスロット)	オプションの fi-475VI (ビデオインタフェースボード) または fi-475CMP3 (画像圧縮ボード) を差し込みます。
17	交換用パッド ASSY	予備のパッド ASSY です。(本装置出荷時には、予備のパッド ASSY が 1 個添付されています。)
18	サイドガイド	原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅に合わせてセットします。
19	USB インタフェースコネクタ	USB インターフェースケーブルを接続します。

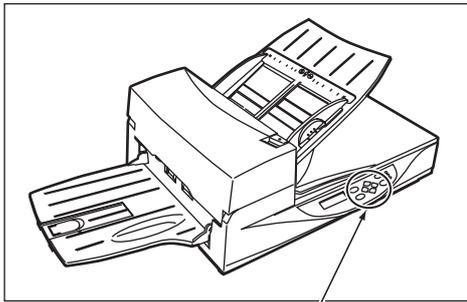
■ 取り外し可能部品



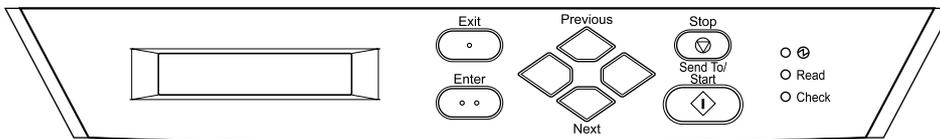
操作パネル

操作パネルは、スキャナの前部右側にあります。このパネルは、LCD（16文字×2行）、LED、ボタンから構成されています。

■ 配列



操作パネル



■ ボタンおよび LED

ボタンと LED の名称		機能
ボタン	Next ◊	次の画面を表示します。
	Previous ◊	前の画面を表示します。
	◊	カーソルを左に移動します。
	◊	カーソルを右に移動します。
	Exit	操作パネルで設定をしている時にこのボタンを押すと、LCD 表示は直ちに「レディ」画面に戻ります。
	Enter	現在カーソルで選択されているパラメータを保存します。
	Send To/ Start	「手挿入」モードがセットされているか「Read」LED が点灯している時に操作可能です。ビデオインタフェースオプションが使われていれば、読み取りを開始します。また一部のアプリケーションソフトで使われることがあります。
	Stop	「Check」LED が点灯している時にこのボタンを押すと、エラー状態を解除します（「Check」LED が消灯し、LCD 表示は「レディ」画面に戻ります）。 読み取り動作中にのみ操作可能です。ビデオインタフェースオプションが使われていれば、読み取りを停止します。 「Check」LED を消灯します。
LED	①	スキャナの電源が投入されている時に点灯します。
	Read	スキャナが読み取り動作中か読み取り動作可能な時に点灯します。
	Check	<ul style="list-style-type: none"> アラームが起きた時に点灯します。「Stop」ボタンを押すと「Check」LED は消灯します。 紙詰まりまたはマルチフィードが起きた時は 1 秒間隔で点滅します。紙詰まりの場合、詰まった紙を取り除くと「Check」LED は消灯します。マルチフィードの場合、「Stop」ボタンを押すと「Check」LED は消灯します。 ADF の清掃が必要な時は 4 秒間隔で点滅します。

3

スキャナの設置

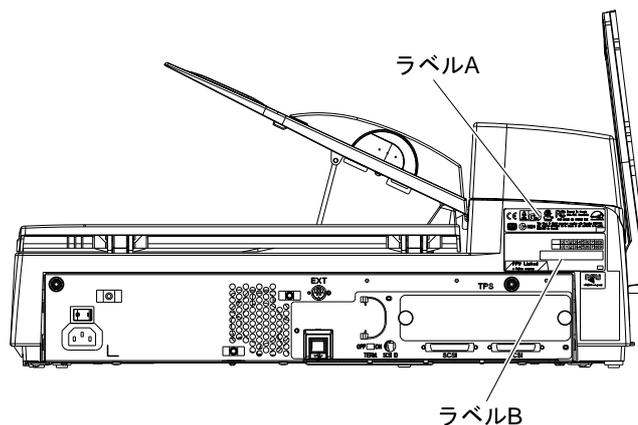
この章では、スキャナの設置のしかたと接続のしかたについて説明しています。

装置ラベルの確認	3-2
設置手順	3-3

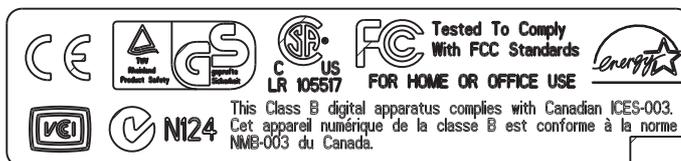
装置ラベルの確認

ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明しています。

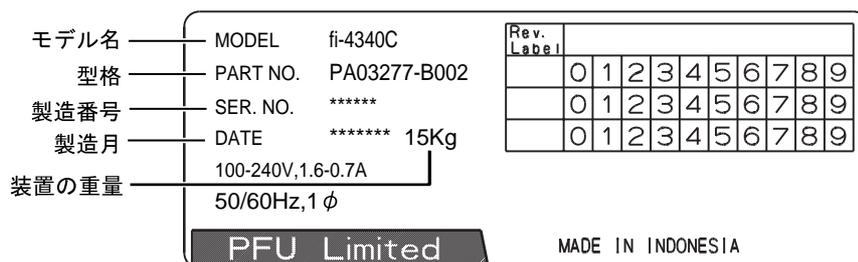
二つのラベルの位置



ラベル A (例) : 装置が適合する規格について示しています。



ラベル B (例) : 装置の情報を示しています。



注

製造番号が 700001 以降のモデルは SCSI と USB, 両方のインタフェースを搭載しています。

設置手順

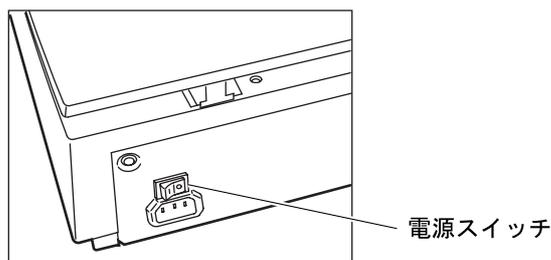
以下に、スキャナを設置する手順を示します。

- 1 輸送レバーを解除します。
- 2 インタフェース ケーブル (USB または SCSI) を接続します。
- 3 (SCSI 接続の場合) SCSI ID と終端抵抗を設定します。
- 4 スタッカを取り付けます。
- 5 電源ケーブルを接続します。

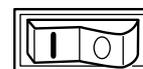
なお、スキャナを設置する前に、必ず電源スイッチを切ってください。
以下に、電源スイッチの切り方を示します。

■ 電源スイッチの切り方

1. 電源スイッチの「O」側を押して、電源を切断します。



電源切断

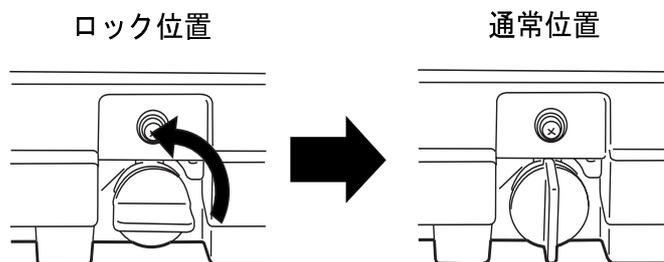


電源投入

■ 輸送レバーの解除

スキャナが出荷中に壊れないように、キャリアユニットは輸送レバーで固定されています。スキャナを設置場所に置いた後に、以下の説明に従って輸送レバーを解除してください。

1. 輸送レバーを反時計回りに 90° 回転させて解除します。



ご注意

スキャナを移動する前に、輸送レバーを必ず「ロック位置」にしてください。輸送レバーをロックする前に、キャリアユニットがホームポジションに戻っていることを必ず確認してください。

■ インタフェースケーブルの接続

Windows 95、または Windows NT 4.0 をお使いの場合、SCSI インタフェースケーブルを接続してください。

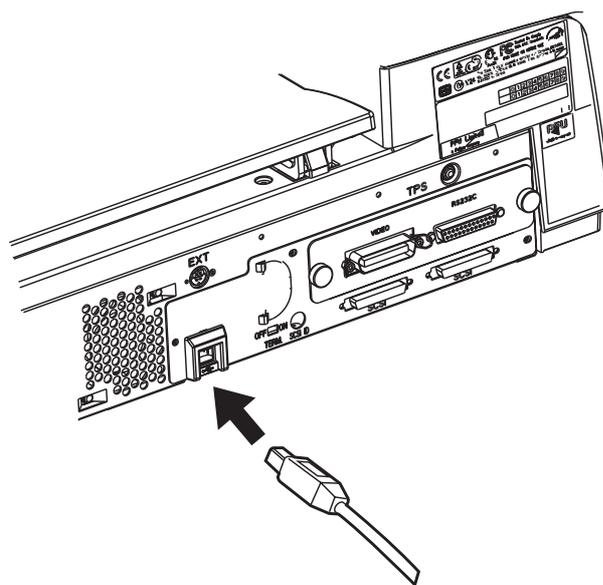
Windows 98、Windows Me、Windows 2000、または Windows XP をお使いの場合、USB インタフェースケーブル、または SCSI インタフェースケーブルのいずれかを接続してください。

注

1. SCSI インタフェースケーブルと USB インタフェースケーブルの両方が同時に接続されている場合、USB インタフェースケーブルが優先されます。
2. 2 台のパソコンに同時に USB インタフェースケーブル、SCSI ケーブルを接続しないでください。

USB で接続の場合

- 1 USB インタフェースケーブルを USB インタフェースコネクタに接続し、固定します。
- 2 もう一方の端をパソコンに接続します。

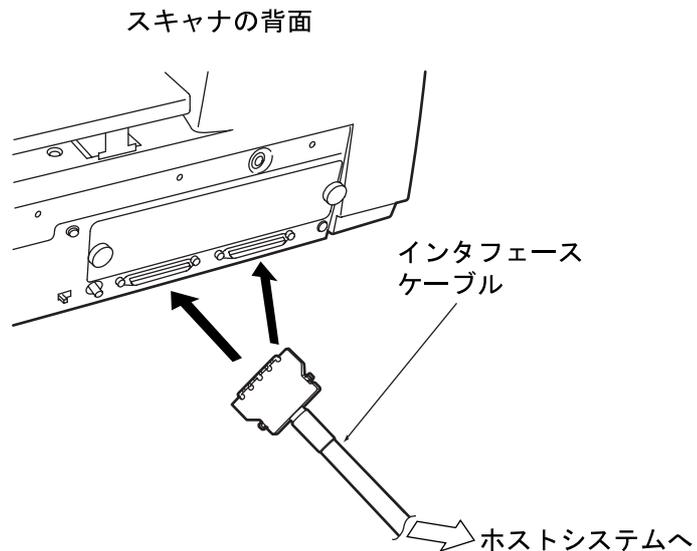


注

1. USB ケーブルは、同梱の USB ケーブルをお使いください。市販の USB ケーブルでの動作確認はしていません。
2. USB ハブに接続する場合、必ずパソコンに一番近い USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作しないことがあります。

SCSI で接続の場合

- 1 SCSI インタフェースケーブルを接続し、固定します。



- 2 もう一方の端をパソコンに接続します。

注

SCSI 終端抵抗は出荷時にオンにセットされています。スキヤナがディジーチェーン接続の中間に位置する場合、終端抵抗の設定をオフに変更してください。変更のしかたについては、本章の“SCSI ID と終端抵抗の設定 (SCSI インタフェースで接続の場合) (3-6)”を参照してください。

注

SCSI-ID は出荷時に No.5 にセットされています。他の装置が同じ ID の時は、本スキヤナの ID を変更するか他の装置の ID を変更してください。変更のしかたについては、本章の“SCSI ID と終端抵抗の設定 (SCSI インタフェースで接続の場合) (3-6)”を参照してください。

■ SCSI ID と終端抵抗の設定（SCSI インタフェースで接続の場合）

SCSI-ID は出荷時に No.5 に設定されています。SCSI-ID は以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチの「0」側を押して、電源を切断します。
2. 装置背面部にある SCSI-ID スイッチを回転させ、SCSI-ID を設定します。

ID No.	内容
0 ~ 7	設定可能
8, 9	8, 9 に設定した場合、出荷設定値（SCSI-ID = 5）になります。

3. 装置背面部にある SCSI 終端抵抗スイッチで「ON」、「OFF」を切り替えます。

注

SCSI 終端抵抗は出荷時に「ON」にセットされています。本スキャナがディジーチェーン接続の中間に位置する場合、終端抵抗の設定を「OFF」に変更してください。

本スキャナが最終端になる場合は、終端抵抗の設定を「ON」にしてください。

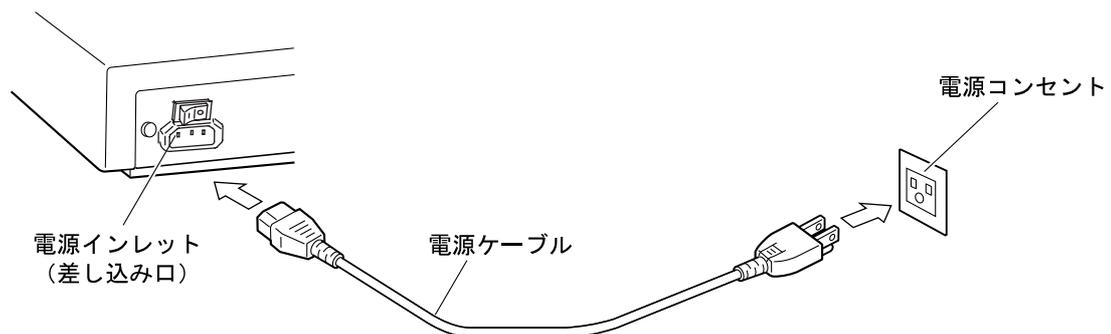
■ スタッカの取り付け

1. スタッカの両端のピンの付け根を指などで両側より押し、装置の穴にスタッカのピンが入るように入れてください。



■ 電源ケーブルの接続

1. 電源ケーブルを装置の電源インレット（差し込み口）と電源コンセントに接続します。



4

ソフトウェアのインストール

この章では、ソフトウェアのインストールについて説明しています。

インストールについて 4-2

インストールについて

添付ソフトウェアのインストールについては、付属のインストレーションガイド、および Setup CD-ROM 内のドライバの取扱説明書を参照してください。

5

スキャナの使用法

この章では、スキャナの使用のしかたについて説明しています。

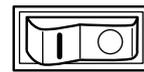
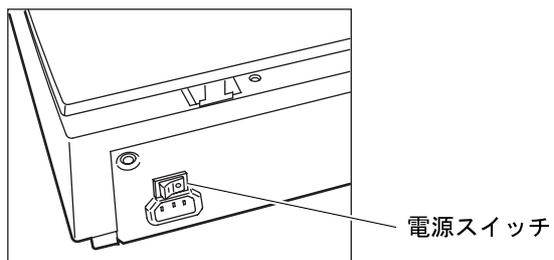
日常の保守については、「清掃と保守のガイド」を参照してください。

電源の投入	5-2
スキャナの低電力モードからの起動について	5-3
手挿入モードの設定	5-4
原稿のセット（自動給紙の場合）	5-5
原稿のセット（フラットベッドの場合）	5-9
大きな原稿の読み取りについて	5-10
厚い原稿の読み取りについて	5-11
紙詰まりが発生したときは	5-12

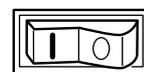
電源の投入

ここでは、電源の投入のしかたについて説明しています。

電源スイッチの「I」側を押します。電源が投入され、操作パネルの緑色の電源ランプが点灯します。



電源切断

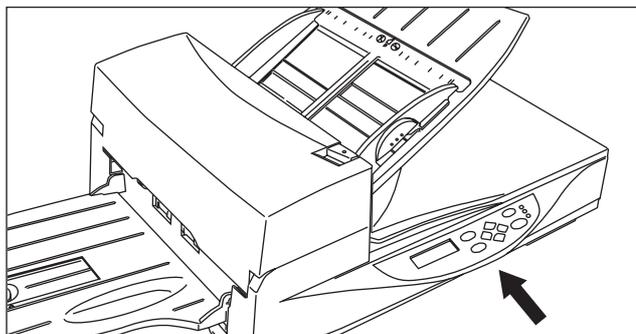


電源投入

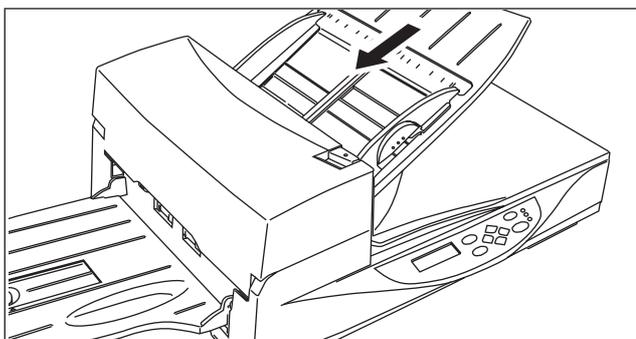
スキャナの低電力モードからの起動について

ここでは、低電力モードからスキャナを起動する方法について説明しています。
スキャナを起動するには、以下のいずれかの作業を行ってください。

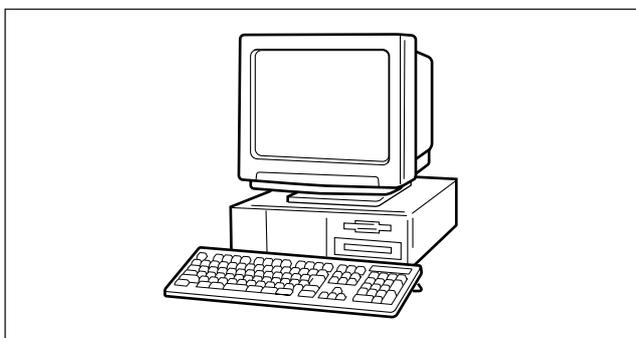
- ボタンのどれかを押す。



- ADF に用紙をセットする。



- 読み取りコマンドをホストコンピュータから送信する。



手挿入モードの設定

このモードでは、スキャナは原稿を全て読み取った後、前もって決められた時間内には「ヨウシナシ」を表示せずに待機します。この前もって決めておく時間（タイムアウト制限値）は、セットアップモードで指定できます。これにより、読み取り操作を中断することなく、ADF 給紙シュートに次の原稿をセットすることができます。手挿入モードを設定する手順は、以下のとおりです。

1. 電源を投入して、LCDに「レディ」と表示されていることを確認します。

<画面 M1 >

```
レ デ ィ                      X X X X
X X X X X 0 >
```

2. **Next** を押します。

スキャナは<画面 M2 >を表示します。

<画面 M2 >

```
モ ー ト ` セ ン タ ク   0
☐   ヨ ミ ト リ モ ー ト `
```

3. **Next** を押します。

スキャナは<画面 M3 >を表示します。

<画面 M3 >

```
モ ー ト ` セ ン タ ク   1
M   テ ソ ウ ニ ュ ウ モ ー ト `
```

4. **Enter** を押します。

スキャナは<画面 M4 >を表示します。

<画面 M4 >

```
M 0 1   テ ソ ウ ニ ュ ウ モ ー ト `
= N o / Y e s
```

5. **◇** を押して「Yes」を選択します。その後 **Enter** を押します。

6. **Exit** を押して「レディ」画面に戻ります。

LCDに「テソウニュウ」と表示されているはずですが、これは、スキャナが手挿入モードに設定されていることを示します。

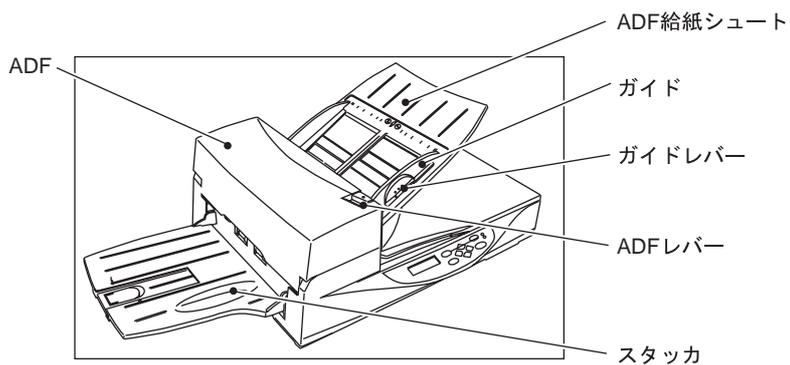
<画面 M1 >

```
テ ソ ウ ニ ュ ウ                      X X X X
レ デ ィ                      X X X X 0
```

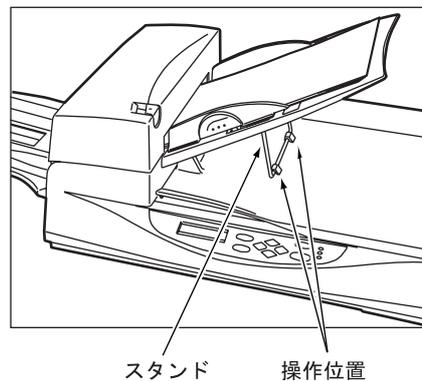
原稿のセット（自動給紙の場合）



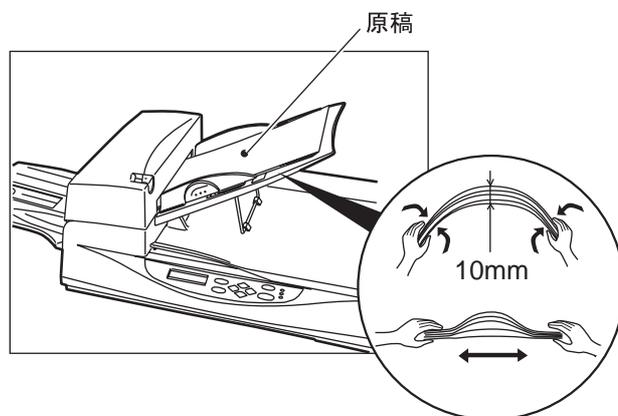
操作の前に、“3 スキャナの設置”の“輸送レバーの解除 (3-3)”に従って、輸送レバーの位置を必ず変更してください。



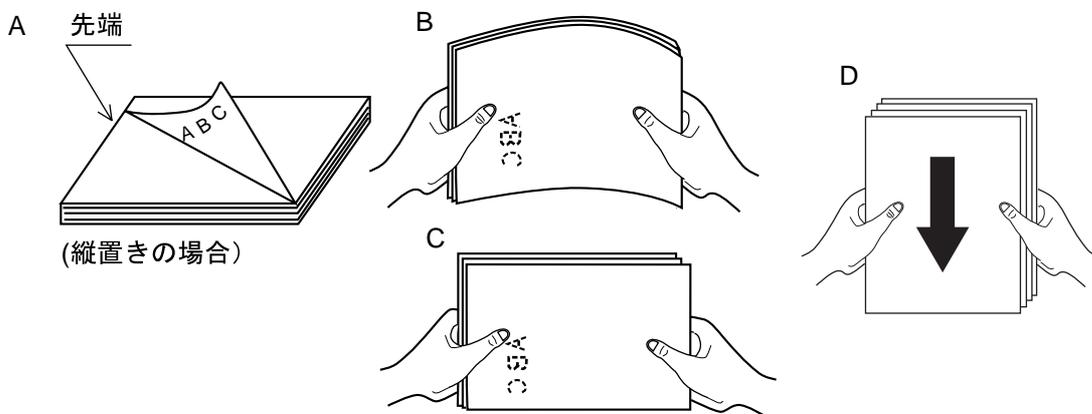
- 1 ADF の給紙シュートをもち上げ、スタンドを操作位置に置きます。



- 2 ADF の給紙シュートに原稿の束をセットする前に、用紙をさばきます。



- 図 A のように、原稿の表を下にし、先端を左側にして置きます。（横置きモードでは長い側、縦置きモードでは短い側が先端です。）
- 両手で両端を持ちながら、原稿を持ち上げます。
- 図 B のように、原稿を左手でしっかり持ってたわませます。
- 図 C のように、原稿を右手でしっかりつかんで左手の握り方をゆるめ、まっすぐにします。
- 図 D のように、原稿の束のフィード側の端をそろえます。



注

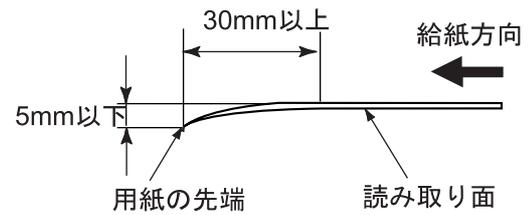
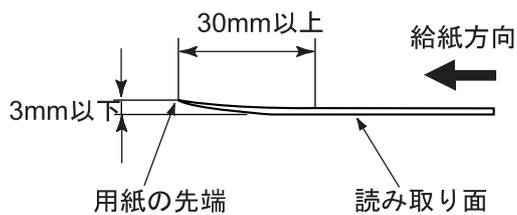
マルチフィードまたはピックミスが起きる場合は、原稿の分量を減らしてください。

注

原稿を準備する際、次の点に注意してください。

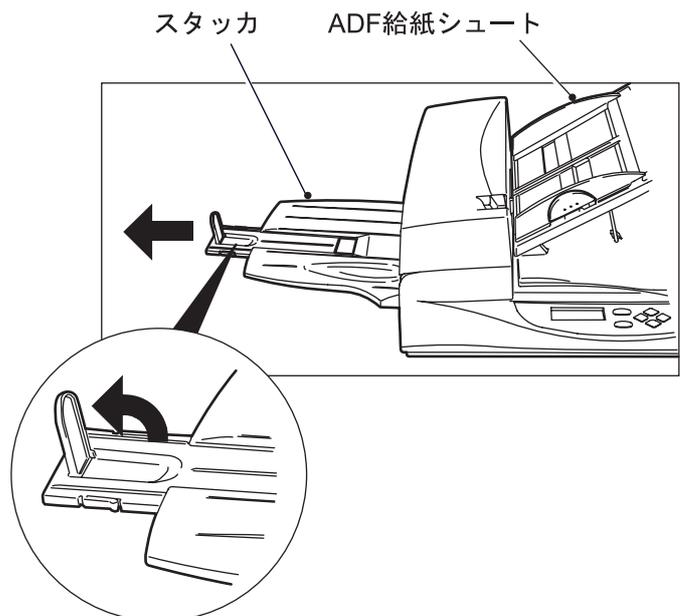
- クリップおよびステープラーの針は取り除いてください。ステープラーの穴は平らにしてください。
- 以下の原稿は ADF ではうまく読み取れない場合があります。予期せぬエラーを防ぐためには、予備の原稿での給紙テストが必要な場合もあります。原稿が ADF 内で頻繁に滑ったり、詰まったり（ペーパージャムエラー）またはマルチフィードを起こしたりする場合はフラットベッドを使って原稿を読み取ってください。
 - 紙厚が一定していない原稿（封筒など）
 - しわがよっていたり、カールしている原稿（下記項目を参照してください）
 - 折れたり、裂けたりしている原稿
 - トレーシングペーパー
 - コート紙
 - カーボン紙
 - ノーカーボン紙
 - 感光紙

- 端にミシン目や穴あけのある原稿
- 四角形でない原稿
- 非常に薄い原稿
- また、以下の原稿は使用しないでください。
 - クリップまたはステープラーの針が付いた用紙
 - インクが乾いていない用紙
 - A8(縦置き)サイズより小さい用紙
 - A3サイズや 11 in. × 17 in. の幅より大きい原稿
 - 紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルム
- ADF を使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。

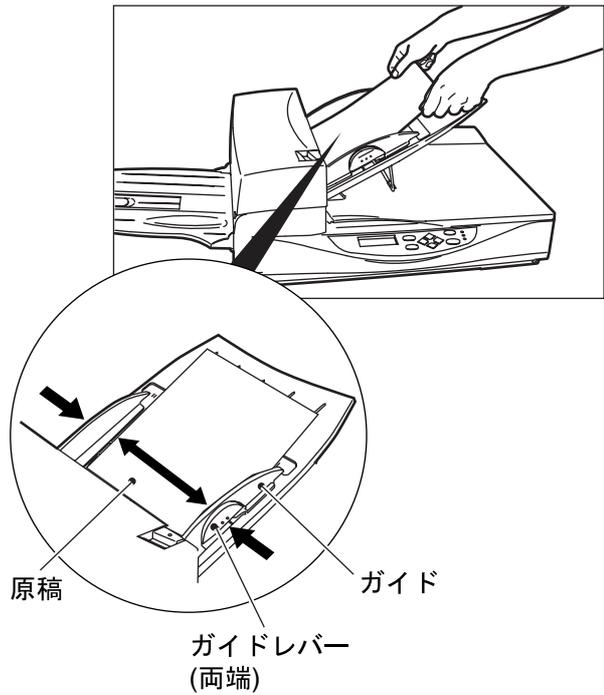


- 斜行を防ぐために、同一処理中には幅が異なる原稿を読み取らせないでください。

3 スタッカの延長部分を用紙サイズに合わせて調整します。

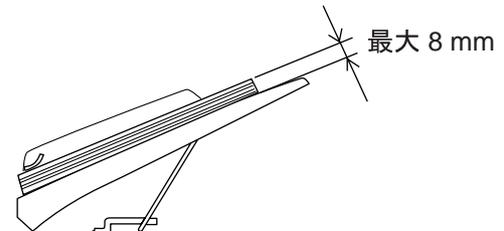


- 4** 原稿の両端とガイドの間に少し隙間ができるように、ガイドをセットします。ADFの給紙シュートに原稿の表を下にして載せ、ガイドを原稿に合わせます。



注

ガイドを動かすには、ガイドレバーを強く握ってください。
8 mm以上の厚さがある原稿の束を載せないでください。
ガイドは、原稿の側面に触れる程度にセットしてください。

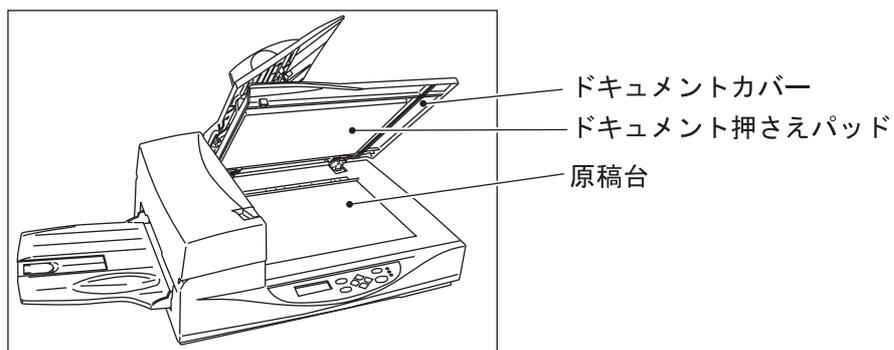


- 5** ホストシステムから読み取りコマンドが出され、原稿が読み取られた後、スキャンされた原稿はスタッカに排紙され、取り出すことができます。

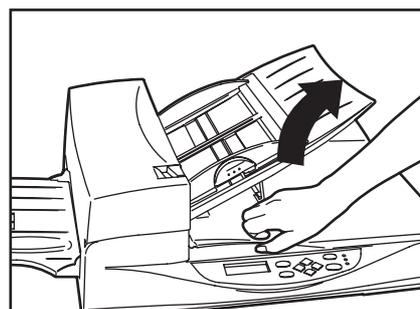
原稿のセット（フラットベッドの場合）

ご注意

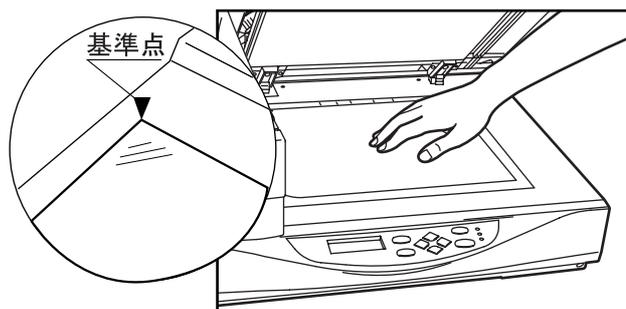
読み取り動作中、光源を直接見ないでください。



- 1** ドキュメントカバーを開きます。



- 2** 原稿の表を下にして置き、左上のかどを基準点に合わせます。



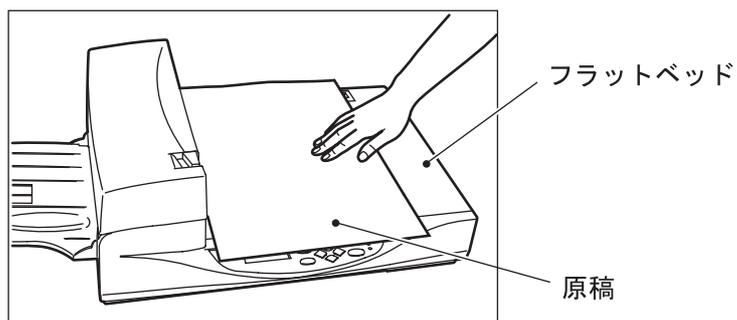
- 3** ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

- 4** ホストシステムから読み取りコマンドを出します。

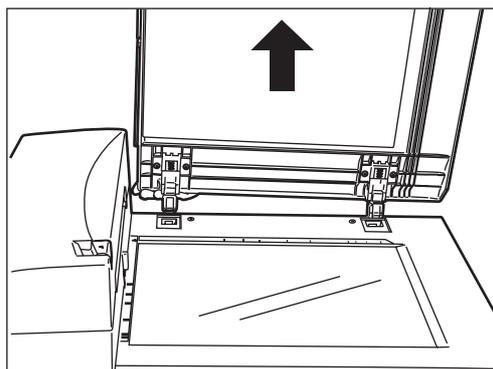
大きな原稿の読み取りについて

⚠️ ご注意

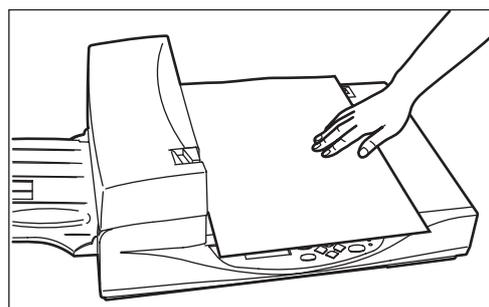
読み取り動作中、光源を直接見ないでください。



- 1** ドキュメントカバーを約 90 度の角度まで開き、カバー上側（矢印の方向）に抜き、取り外します。



- 2** フラットベッドに、原稿の表を下にして置きます。ホストシステムから読み取りコマンドを出します。

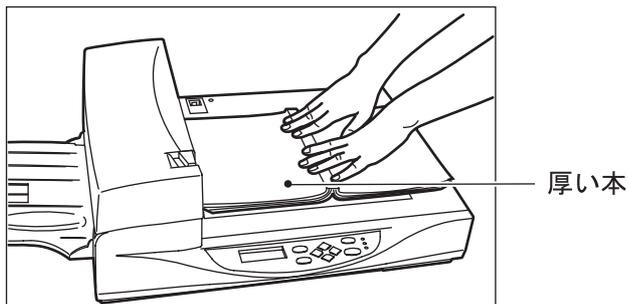


- 3** 読み取り動作の後、原稿を取り出し、ドキュメントカバーを再び取り付けて静かに閉じます。

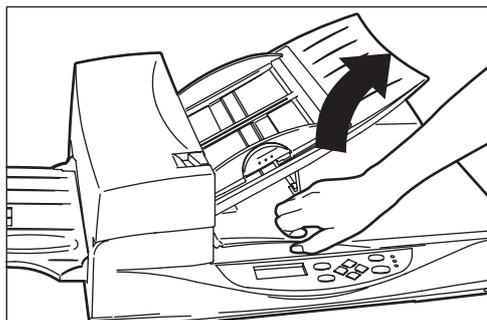
厚い原稿の読み取りについて

ご注意

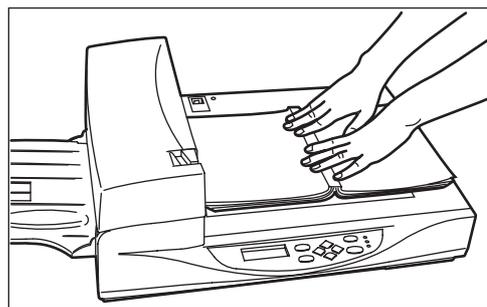
読み取り動作中、光源を直接見ないでください。



- 1** ドキュメントカバーを開きます。



- 2** フラットベッドの上に、本の表を下にして置きます。

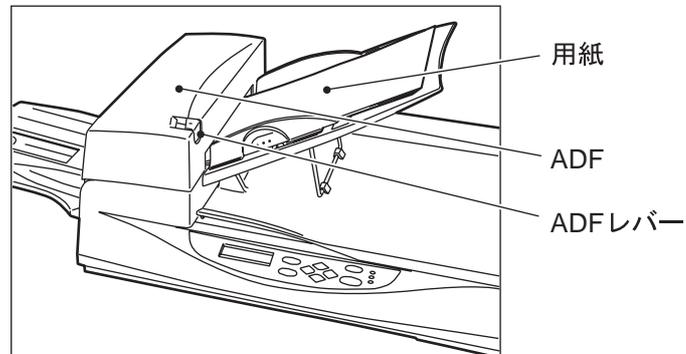


- 3** ホストシステムから読み取りコマンドを出します。読み取りの間、カバーを開けたままにしておきます。

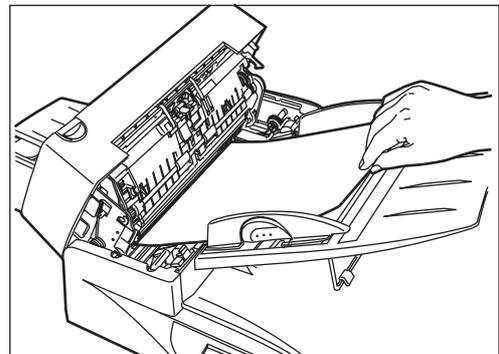
注

読み取り動作中は本を動かさないでください。

紙詰まりが発生したときは



- 1** ADF 給紙シュートに用紙があれば取り出します。



- 2** ADF レバーを引いて ADF を開けます。

- 3** つまった用紙を取り除きます。

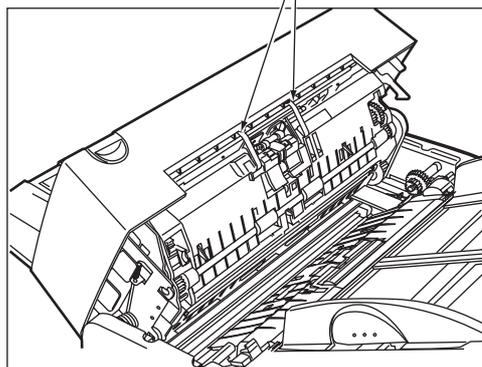
注

ステープラーの針やクリップなどは紙詰まりの原因となりますので、原稿と搬送路にステープラーの針やクリップが残っていないかをよく調べて必ず取り除いてください。

 注

つまった用紙を取り除く際に、ピック用スプリングを引っ張らないように注意してください。

ピック用スプリング



4

ADF ユニットを閉じます。

6

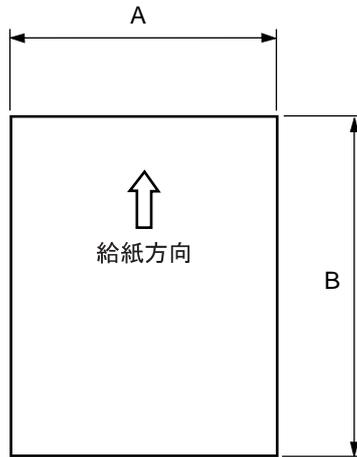
自動給紙（ADF）をお使いいただく際に

この章では、ADF が正しく動作するのに必要な原稿のサイズと原稿の紙質について説明しています。

原稿のサイズ	6-2
原稿の紙質	6-3
ADF にセットできる原稿の枚数	6-5
穴をあけてはいけない領域	6-6
背景色の領域の制限	6-7
マルチフィードの検出条件	6-8
ジョブ区切りシート	6-9

原稿のサイズ

以下の図は、スキヤナの ADF で読み取り可能な原稿のサイズを示します。



スキヤナ	最大		最小	
	A	B	A	B
fi-4340C	216	356	53	74

(単位 : mm)

原稿の紙質

この節では、このスキャナに使用できる原稿の種類と紙厚、および事前の注意について説明しています。

■ 原稿の種類

原稿として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙

上記以外の種類の用紙を使用する時には、読み取り操作を実行する前に、ADFでの給紙ができるかどうかを同質の用紙で確認してください。

フラットベッドでは様々な種類の原稿を読み取れます。ただし、背景色の使い方については本章の後の方で説明する「背景色の領域の制限」を満たす必要があります。

■ 原稿の紙厚

紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。使用可能な坪量は以下のとおりです。

- 52 g/m² ~ 127 g/m²
A8 サイズは 127g/m² のみ

■ 事前の注意

以下の原稿は ADF ではうまく読み取れない場合があります。予期せぬエラーを防ぐためには、予備の原稿での給紙テストが必要な場合もあります。原稿が ADF 内で頻繁に滑ったり、詰まったり（ペーパージャムエラー）またはマルチフィードを起こしたりする場合はフラットベッドを使って原稿を読み取ってください。

- 紙厚が一定していない原稿（封筒など）
- しわがよっていたり、カールしている原稿（次ページの注意を参照）
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- ノーカーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目や穴あけのある原稿
- 四角形でない原稿
- 非常に薄い原稿

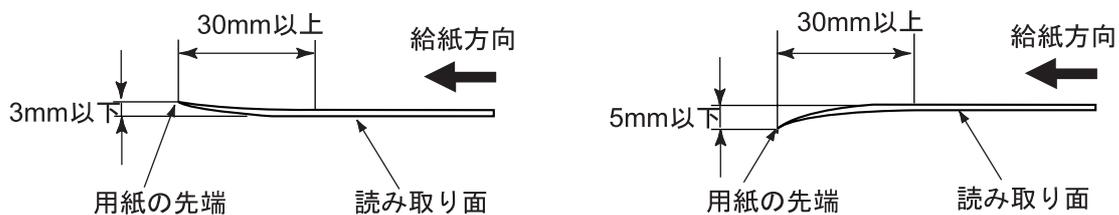
また、以下の原稿は使用しないでください。

- クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
- A8(縦置き) サイズよりも小さい用紙

- A3 サイズや 11 in. × 17 in. の幅より大きい
- 紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルム

注

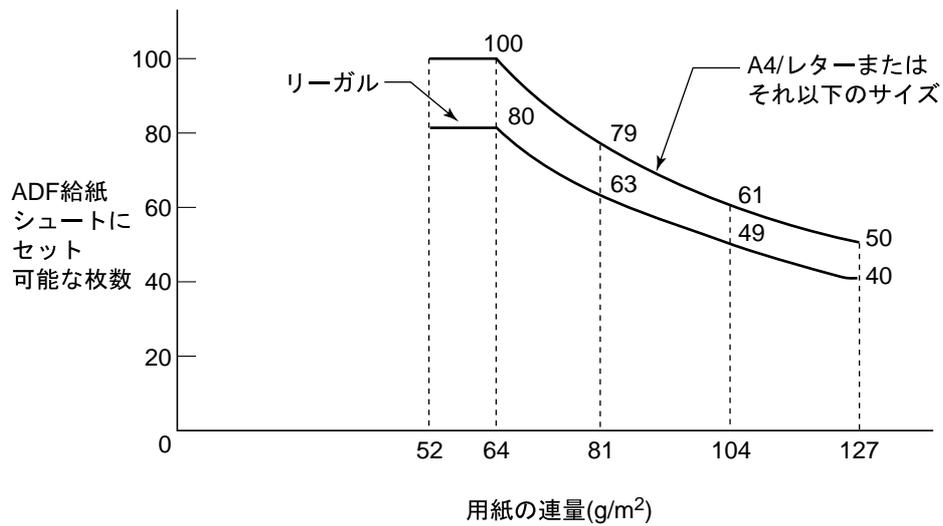
- 半透明の原稿を読み取る時は、濃度をライト側に設定してください。
- ノンカーボン紙は、パッドや用紙を送るローラ類（ピックローラなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。
 - 清掃 : もしもピックミスがしばしば起きるようでしたら、「清掃と保守のガイド」を参照してパッドとピックローラを清掃してください。
 - 部品の交換 : パッドとピックローラの寿命は普通紙の原稿を読み取る場合に比べて場合があります。
- ADF を使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。



- ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした部分の多い原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。

ADF にセットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュートにセットできる原稿の枚数は用紙のサイズと連量で決まります。以下のグラフを参照してください。

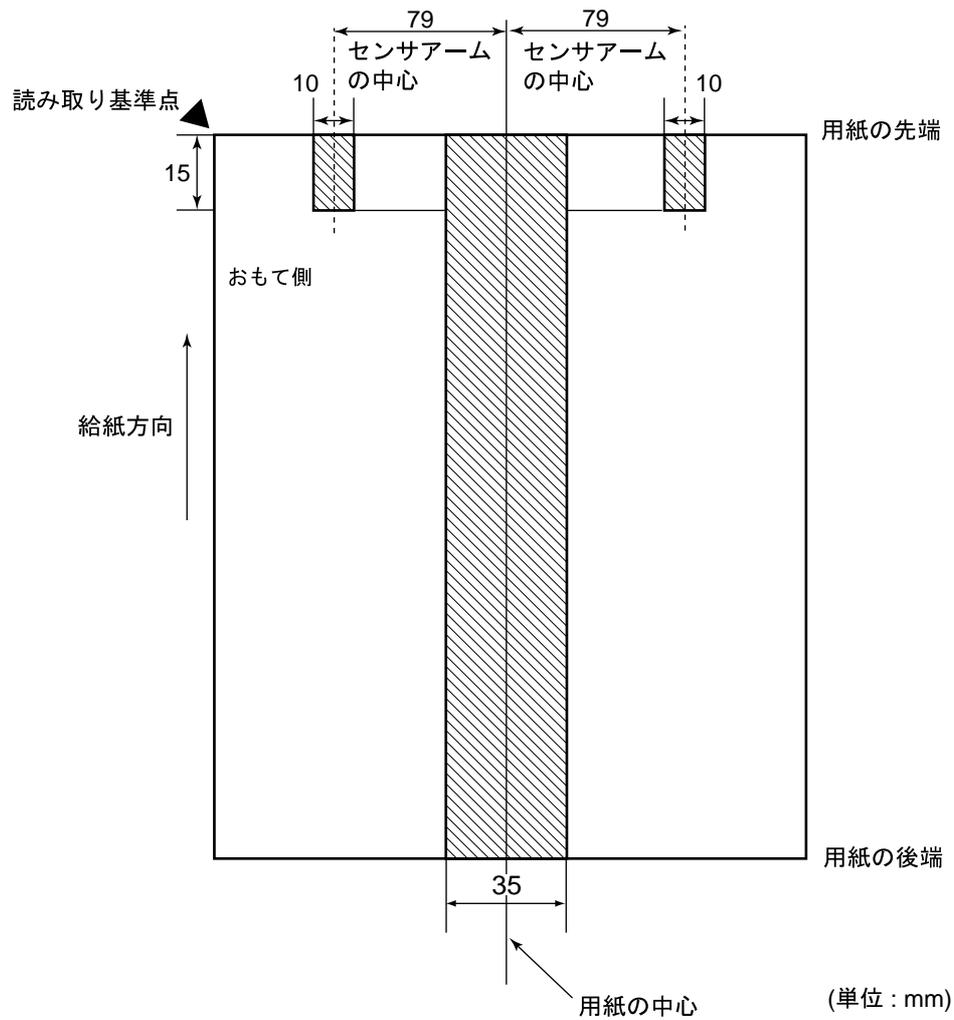


連量変換表

国	連量の単位	変換表						
		45	55	64.6	77.5	90	109.8	135
日本	kg	45	55	64.6	77.5	90	109.8	135
USA	lb	13.9	17	20	24	27.9	34	41.8
欧州	g/m²	52	64	75	90	104	127	157

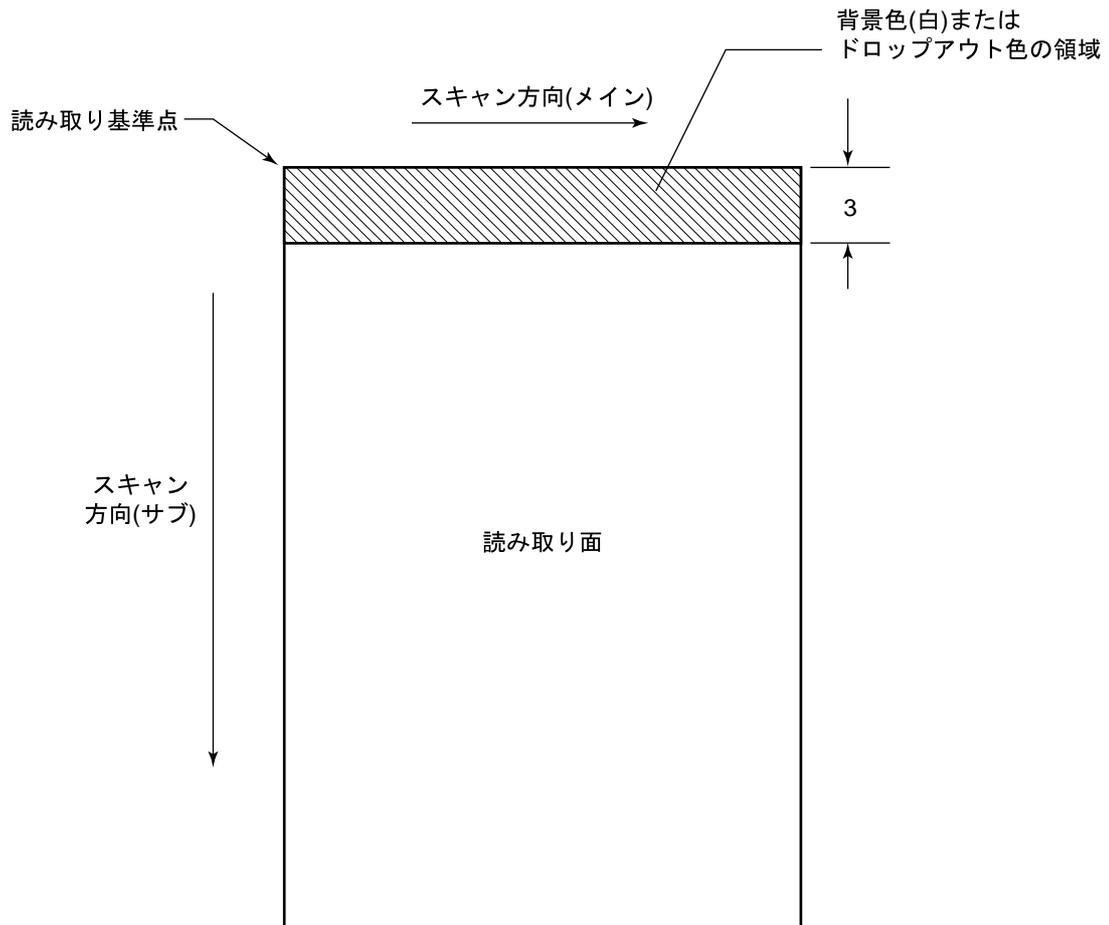
穴をあけてはいけない領域

ADF を使用する場合、以下の図の斜線の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。このような原稿を読まなければならない時は、フラットベッドを使ってください。



背景色の領域の制限

以下の図の斜線の領域の色は背景色（白）またはドロップアウトカラー（2 値線画モード読み取りの時、画像として現われない色）でなければなりません。そうでないならば、白レベルをオフに設定して読み取ってください。



(単位 : mm)

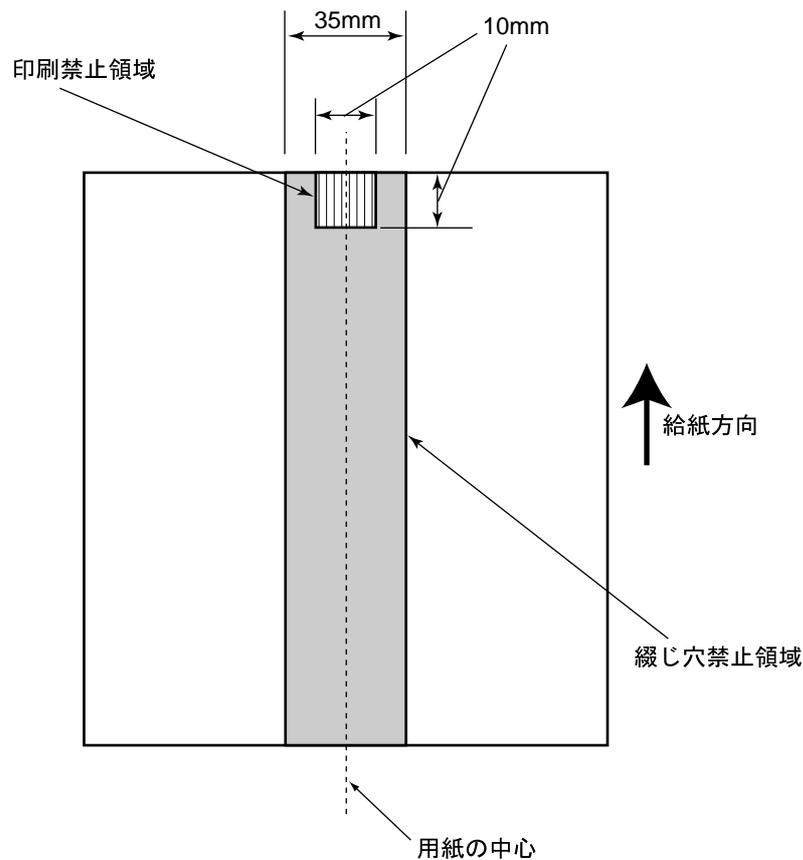
マルチフィードの検出条件

マルチフィードの検出には用紙の厚さまたは用紙の厚さと長さの両方をチェックします。検出を正しく行うには以下の条件が必要です。

- 1 用紙の厚さ : 0.065 mm ~ 0.15 mm
- 2 用紙の長さのばらつき : 1% またはそれ以下
- 3 用紙先端中央部 (10 mm x 10 mm) には、黒い印刷部分が少しでもあってはなりません。
- 4 用紙の中心線を挟む 35 mm の領域には孔あけをしてはいけません。
- 5 印字率 : 12% またはそれ以下
- 6 背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10% より小さくなくてはなりません。

注

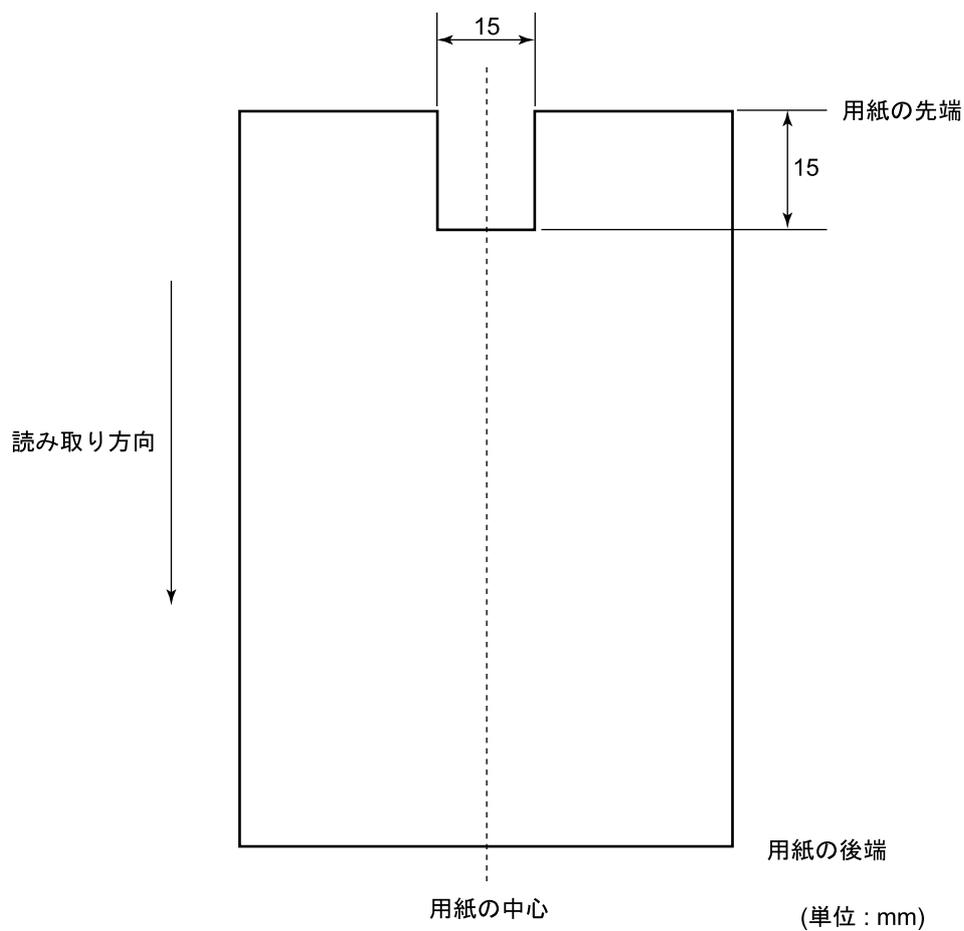
用紙や用紙の条件によってはマルチフィードの検出率が落ちる場合もあります。



ジョブ区切りシート

1 シートの形状

代表的なジョブ区切りシートの形状を以下に示します。



2 用紙の仕様

用紙の仕様は原稿のものと同じです。ただし、用紙の幅は A4 の幅 (210 mm) か、それより広くしてください。

7

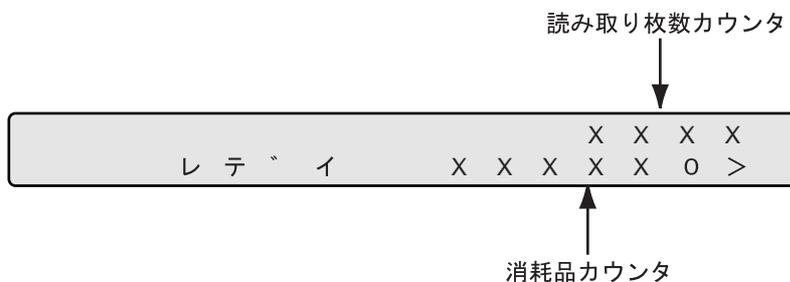
操作パネルのメッセージについて

この章では、操作パネルの LCD に表示される基本的なメッセージについて説明しています。

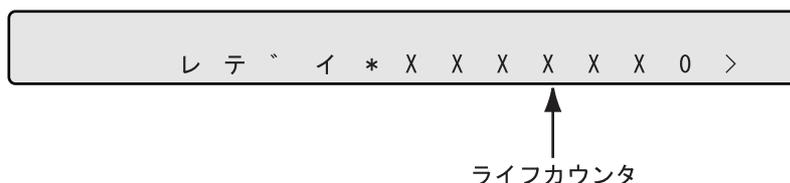
カウンタ表示	7-2
操作状態のメッセージ	7-3
一時的なエラーメッセージ	7-4
アラーム（装置異常）	7-6

カウンタ表示

読み取り枚数カウンタ、および消耗品カウンタの表示は、以下のようになっています。



ライフカウンタの表示は、◇ボタンと◇ボタンを同時に1秒以上押しいただくと、以下のよう切り換わります。



カウンタ	機能	
読み取り枚数カウンタ	◇ ボタンを1秒以上押した時	読み取り開始から「ヨウシナシ」またはエラーが検出されるまでに読み取った原稿の枚数を表示します。カウンタは読み取り開始時自動的にリセットされます。例えば、一つのバッチ業務で読み取った原稿の枚数を知るのに利用できます。
	◇ ボタンを1秒以上押した時	表示されているカウンタは原稿を1枚読み取る毎に1進みます。カウンタは電源が切断されるまで初期化されません。例えば、1日に読み取った原稿の枚数を知るのに利用できます。
消耗品カウンタ	スキャンされた原稿の累積枚数を数えます。このカウンタは原稿を10枚読み取る毎に1進みます。このカウンタは清掃の周期や部品の交換周期の目安としてお使いください。リセットのやり方については「8セットアップモードについて」を参照してください。	
ライフカウンタ	スキャンされた原稿の出荷時からの累積枚数を表示します。このカウンタは原稿を10枚読み取るごとに1進みます。このカウンタは装置の寿命の目安としてお使いください。	

注

カウンタの値が0の時は、数値は表示されません。

操作状態のメッセージ

操作状態のメッセージを以下に示します。

<Not Ready 状態>

シハ`ラクオマチクタ`サイ!!!

<読み取り中>

ヨミトリチュウ X X X X

<低電力モード>

スキャナのディスプレイが消えて電源表示ランプ①がついたままのときは、スキャナは低電力モードになっています。

注

以下の操作のうち一つを行うとスキャナは起動します

- どれかボタンを押す。
- ADFに用紙をセットする。
- ホストコンピュータからコマンドを送信する。

<Start ボタン待ち状態>

(ビデオインタフェースがインストールされている時のみ)

「手挿入」モードで「Start」ボタンが押されるのを待っている状態の時は、以下のメッセージが操作パネルに表示されます。

ヨミトリカノウ

<清掃指示>

ピックアップローラの清掃が必要な時は、操作パネルの上の行に以下のメッセージが表示されます。

ピ`ックローラ`ノ`セイソウ

ADFのガラス部分の清掃が必要な時は、操作パネルの上の行に以下のメッセージが表示されます。

A D F カ`ラス`ノ`セイソウ

ピックアップ及び ADF ガラス部分の清掃が必要なときは、操作パネルの上の行に、以下のメッセージが表示されます。

ピ ッ ク ロ ー ラ ノ セ イ ソ ウ
A D F カ ー ラ ス ノ セ イ ソ ウ

ピックアップと ADF のガラス部分の清掃については User Manual CD-ROM 内の「清掃と保守のガイド」を参照してください。

一時的なエラーメッセージ

< ホッパエンプティ >

ヨ ウ シ ナ シ

ADF モードで読み取り中に ADF 給紙シュートに原稿がなくなると、このメッセージが表示されます。ADF 給紙シュートに原稿を補給してください。読み取り動作を可能にするには「Stop」ボタンを押してください。

< ジャム >

ヨ ウ シ ツ ム マ リ

原稿が ADF で紙詰まりを起こすと、このメッセージが表示されます。紙詰まりの原稿の取り除き方については CD-ROM 内の「清掃と保守のガイド」を参照してください。

< ADF カバーオープン >

A D F オ ー フ ー ン

ADF が完全に閉じられていないと、このメッセージが表示されず。ADF を完全に閉じれば読み取りを行えるようになります。

< マルチフィードエラー >

マ ル チ フ ィ ー ト ム エ ラ ー

ADF がマルチフィードエラーを検出すると、このメッセージが表示されます。原稿を確認し再度読み取りし直してください。

< インクカートリッジなし >

イ ン ク カ ー ト リ ッ ジ ナ シ

インプリンタが接続されている場合、インプリンタにプリントカートリッジが取り付けられていないと、このメッセージ表示されます。詳細はインプリンタのユーザーガイドを参照してください。

< 印字位置エラー >

フ ー リ ン ト エ ラ ー

インプリンタが接続されている時、印字をおこなう場合は、原稿が通らない位置にインプリンタが設置されているか、あるいはスタッカ上の原稿がいっぱいになると、このメッセージが表示されます。詳細はインプリンタのユーザーガイドを参照してください。

アラーム（装置異常）

スキャナに異常が起きると、以下のメッセージのどれかが表示されます。その場合は電源を切断してから、もう一度電源を投入してください。もし再び同じメッセージが表示された場合は販売代理店、または巻末のイメージング サービス&サポートセンターにご相談ください。

< 光学系アラーム（表面） >

コ ウ カ ` ク ケ イ イ シ ` ヨ ウ オ モ テ

< 光学系アラーム（裏面） >

コ ウ カ ` ク ケ イ イ シ ` ヨ ウ ウ ラ

< フラットベッド駆動系異常 >

F B ク ト ` ウ ケ イ イ シ ` ヨ ウ



注

ADF で読み取った原稿の総枚数が 100 枚以下の場合、上記と下記のメッセージが交互に表示されます。キャリアユニットを固定している輸送レバーを“3 スキャナの設置”の“輸送レバーの解除(3-3)”に従って解除してください。

ユ ソ ウ レ ハ ` ー ヲ
カ ク ニ ン シ テ ク タ ` サ イ

< モータヒューズアラーム >

モ ー タ ヒ ュ ー ス ` イ シ ` ヨ ウ

< ランプヒューズアラーム >

ラ ン プ ` ヒ ュ ー ス ` イ シ ` ヨ ウ

< イメージ転送アラーム >
(SCSI 使用時のみ)

イ メ ー シ ` テ ` ー タ テ ン ソ ウ エ ラ ー

< メモリアラーム >

メ モ リ イ シ ` ヨ ウ

< EEPROM アラーム >

E E P R O M イ シ ` ヨ ウ

< ファンアラーム >

フ ァ ン イ シ ` ヨ ウ

<IPC ボードアラーム >
(fi-IPC4D(画像処理ボード))

I P C イ シ ム ヨ ウ

< 自己診断異常 >

Power ランプと Check ランプが交互に点滅します。

<インプリンタ異常>

イン プ リ タ イ シ ム ヨ ウ

< SCSI コントローラ異常 >

ソ ウ チ イ シ ム ヨ ウ

< USB コントローラ異常 >

U S B イ シ ム ヨ ウ

8

セットアップモードについて

この章では、スキャナのセットアップモードについて説明しています。

セットアップモードの起動について 8-2

セットアップモードの内容について 8-3

セットアップモードの起動について

ここでは、スキャナのセットアップモードの起動のしかたについて説明しています。

1. 電源を投入します。スキャナの LCD には「レディ」と表示されます。

<画面 M1 >

```
レ デ ィ          X X X X
                X X X X X 0 >
```

2. スキャナにビデオインターフェースオプションが付いていない場合は、手順 3 に進んでください。ビデオインターフェースオプションが付いている場合は、**Next** を押すと <画面 M2 > が表示されます。

<画面 M2 >

```
モ ー ト ` セ ン タ ク   0
☐ ヨ ミ ト リ モ ー ト `
```

3. **Next** を押します。

スキャナは <画面 M3 > を表示します。

<画面 M3 >

```
モ ー ト ` セ ン タ ク   1
M テ ソ ウ ニ ュ ウ モ ー ト `
```

4. **Next** を押します。

スキャナは <画面 M4 > を表示します。

<画面 M4 >

```
モ ー ト ` セ ン タ ク   2
!   セ ッ ト ア ッ プ モ ー ト `
```

5. **Enter** を押します。

ここでスキャナはセットアップモードに入り、LCD は <画面 1 > を表示します。なお <画面 1 > はセットアップモードにおける最初の画面です。

<画面 1 >

```
! 0 1   マ ル チ フ ィ ー ト `
= N o / Y e s → 1 / 2 : テ イ シ
```

注

Exit を押すといつでも、「レディ」画面に戻すことができます。

セットアップモードの内容について

この節では、セットアップモードの内容について説明しています。

No	LCD の表示	説明	選択可能なパラメータ	工場出荷時
1	マルチフィード	マルチフィードの検出を指定します。マルチフィードは、原稿の長さ、用紙の厚さ、またはその両方を確認することで検出されます。（* 1）	No/Yes	No
2	ナガサチェック	マルチフィードの検出時に検出の厳しさを設定できるように、原稿の長さの許容誤差を指定します。	No/Yes Yes: 10/15/20mm (許容誤差)	No
3	IPC プリセット	スキャナは読み取りパラメータを自動的に推奨値に設定します。IPC-4D が搭載されていない時、右の 3 組のパラメータが指定可能です。	No 1: シャープ 2: ジドウスライス 3: コピーヨウ	No
4	ショウモウヒン	消耗品カウンタをリセットします。	—	—
5	ピックスタートタイム	原稿を手で挿入してからスキャナがピックを開始するまでの時間を指定します。ジョブに合わせて最も使い易いピック開始時間を選択できます。	0.2 ~ 29.8 sec	1.0 sec
6	タイムアウトセッテイ	最後の原稿を読み取ってから次の原稿が手挿入されるまでのスキャナの待機時間を指定します。	1 ~ 1999 sec	30 sec
7	ADF オフセットオモテ (* 2)	ADF で原稿のオモテ面から読み取る画像の水平および垂直オフセットを指定します。	H:-2 ~ +3 mm V:-2 ~ +3 mm	H: 0 mm V: 0 mm
8	ADF オフセットウラ (* 2)	ADF で原稿のウラ面から読み取る画像の水平および垂直オフセットを指定します。	H:-2 ~ +3 mm V:-2 ~ +3 mm	H: 0 mm V: 0 mm
9	FB オフセット (* 2)	フラットベッドで読み取る画像の水平および垂直オフセットを指定します。	H:-2 ~ +3 mm V:-2 ~ +3 mm	H: 0 mm V: 0 mm
10	IPC (* 3)	画像処理ボード (IPC-4D) の搭載の有無およびインプリンタオプションの有無を確認できます。	—	—
11	パワーセーブ	節電モードに入るまでの待機時間の設定を変更します。	5 min. ~ 60 min.	15 min.
12	インタフェース	スキャナのオプションスロットにボードがインストールされている時、使用するインタフェースを選択します。	ジドウ / ヒョウ ジュン / Tps	ジドウ

No	LCD の表示	説明	選択可能なパラメータ	工場出荷時
13	TPS インタフェース	オプションスロット (TPS:Third PartySlot) に搭載されているボードの ID 番号を表示します。	—	—
14	IPC モード	オプションスロット (TPS:Third PartySlot) に IPC-4D 画像処理ボードが搭載されている時、スキャナ内蔵の画像処理機構を使うか IPC-4D 画像処理機構を使うかを選択します。	スタンダード / IPC4D	スタンダード
15	ADF フチケシ ハンイ	ADF で読み取られた画像に対する縁消し領域の調整を行います。	左右端 : 0 ~ 15 mm 上端 : 0 ~ 15 mm 下端 : -7 ~ 0 mm	左右端 : 0 mm 上端 : 0 mm 下端 : 0 mm
16	FB フチケシハン イ	フラットベッドで読み取られた画像に対する縁消し領域の調整を行います。	左右端 : 0 ~ 15 mm 上端 : 0 ~ 15 mm 下端 : 0 mm	左右端 : 0 mm 上端 : 0 mm 下端 : 0 mm
17	ヨミトリシヨク センタク	単色で読み取りを行うときの読み取り色を選択します。	R/G/B	G
18	グレーモード	グレー読み取り時に装置のデフォルトの読み取りに対して、画質を優先した読み取りに切り替えることが可能です。	ツウジョウ / コウソク	コウソク
19	インクザンリョ ウ	インプリンタオプション搭載時のインク残量表示とインク交換時の残量カウンタのリセットを行います。	Reset/No	No
20	バンゴウインサ ツ	インプリンタオプション搭載時に番号印刷の指定を行うことができます。	on/off	off

* 1) マルチフィードの検出には、いくつかの制限事項があります。

* 2) このオフセットは、自動オフセットによって調整された位置からの更なるオフセットのことをいいます。

* 3) 接続されている、オプションによって、表示は変わります。

1 マルチフィード検出（紙の厚さ）の設定

マルチフィードを検出するかしないかの設定は、以下のようにします。

1. **Next** または **Previous** を押し、LCD に〈画面 1〉を表示させます。

〈画面 1〉

```
! 0 1   マ ル チ フ ィ ー ト `
= N o / Y e s → 1 / 2 : テ イ シ
```

2. 〈画面 1〉において

◇ または ◇ ボタンのいずれかを押し、用紙の厚さ（透過光）によるマルチフィード検出をするかどうかを設定します。

ADF から用紙が 2 枚重なってフィードされた時の透過光の差異を利用して、用紙の厚さがチェックされます。この画面では、マルチフィードの検出を行うかどうかの選択、およびエラー処理の選択を行います。

これらのボタンのどちらかが押されると、点滅の場所が移動します。◇ ボタンが押されると、点滅は (1) から (3) へ移動します。◇ ボタンが押されると、点滅は反対方向に移動します。しかし、ホストコンピュータによる設定が有効である場合は、どちらのボタンが押されても点滅の位置は移動しません。

- | | |
|---------------------------|---|
| (1) 「No」が点滅している： | 用紙の厚さはチェックされません。 |
| (2) 「Yes」と「1」が点滅している： | 用紙の厚さはチェックされます。しかし、検出されたマルチフィードエラーは LCD に表示されるだけです。読み取りは続行されます。 |
| (3) 「Yes」と「2：テイシ」が点滅している： | 用紙の厚さはチェックされます。マルチフィードエラーが検出されると、読み取りは中止されます。その後エラーはホストに報告されます。 |

マルチフィード検出を止めたい場合は、「No」を選択してから **Enter** を押します。**Exit** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

注

1. 用紙の厚さと用紙の長さ（次項）の両方を利用すると、マルチフィードの検出精度があがります。
2. スキャナがマルチフィードの検出により紙送りを中止した場合、ADF にある原稿またはその前の原稿がマルチフィードされている可能性があります。
3. 原稿の印刷の種類により、用紙の厚さではマルチフィードが検出できない場合があります。

2 マルチフィード検出（紙の長さ）の設定

1. **Next** または **Previous** を押し、LCD に〈画面 2〉を表示させます。

〈画面 2〉

!	0	2	ナ	カ	サ	チ	エ	ツ	ク					
=	N	o	/	Y	e	s	→	1	/	2	:	テ	イ	シ

2. 〈画面 2〉で、◇ または ◇ ボタンのいずれかを押し、用紙の長さによるマルチフィード検出をするかどうかを設定します。

ADF から用紙が 2 枚ずれてフィードされた時の長さの差異を利用して、用紙の長さがチェックされます。

これらのボタンのどちらかが押されると、点滅の場所が移動します。◇ ボタンが押されると、点滅は (1) から (3) へ移動します。◇ ボタンが押されると、点滅は反対方向に移動します。しかし、ホストコンピュータによる設定が有効である場合は、どちらのボタンが押されても点滅の位置は移動しません。

- | | |
|---------------------------|---|
| (1) 「No」が点滅している： | 用紙の長さはチェックされません。 |
| (2) 「Yes」と「1」が点滅している： | 用紙の長さはチェックされます。しかし、検出されたマルチフィードエラーは LCD に表示されるだけです。読み取りは続行されます。 |
| (3) 「Yes」と「2：テイシ」が点滅している： | 用紙の長さはチェックされます。マルチフィードエラーが検出されると、読み取りは中止されます。その後エラーはホストに報告されます。 |

マルチフィード検出を止めたい場合は、「No」を選択してから **Enter** を押します。**Exit** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。**Enter** を押した後、LCD は〈画面 3〉になります。

3. ◇ または ◇ ボタンのどちらかを押し、用紙の長さを設定します。

◇ ボタンが押されると、点滅は (1) から (3) に移動します。◇ ボタンが押されると、点滅は反対方向に移動します。

〈画面 3〉

!	0	2	-	1	ナ	カ	サ	セ	ツ	テ	イ
=		1	0	/	1	5	/	2	0	m	m

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) 「10」が点滅している： | 差異が 10mm までエラーとしない。 |
| (2) 「15」が点滅している： | 差異が 15mm までエラーとしない。 |
| (3) 「20」が点滅している： | 差異が 20mm までエラーとしない。 |

3 IPC プリセットモードの設定

プリセットモードの設定を使用する時は、以下のようにします。

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して LCD に<画面 4>を表示させます。

<画面 4>

```
! 0 3   I P C   フ ° リ セ ッ ト
=      N o
```

2. <画面 4>で、◇ または ◇ を押してプリセットモードの項目を選択し、**Enter** を押してプリセットモードを有効にします。

LCD は<画面 5>を表示します。

<画面 5>

```
! 0 3 - 1   I P C   ホ ス ト セ ッ テ イ
ム シ シ マ ス カ ?   Y e s / N o
```

注

IPC-4D が搭載されていないとき、次の項目に関してプリセットが選択できます。

- シャープ
- ジドウスライス
- コピーヨウ
- IPC-4D が搭載されているとき、以下のプリセットが追加で選択できます。

プリセット 1 : 色付背景からの文字分離 (2パス自動二値)
プリセット 2 : 一般原稿用自動二値
プリセット 3 : OCR 向
プリセット 4 : 平滑化
プリセット 5 : ディザ
プリセット 9 : プレプリント用紙 (カラー) 向き
ノンカーボンヨウシ : ノーカーボン用紙向き

3. <画面 5>で、「Yes」または「No」を選択します。

「Yes」を選択した時は、ホストコンピュータによる IPC の設定は無視されるので注意してください。「No」を選択した時は、IPC の設定はホストの設定に従って変更されます。最後に **Enter** を押します。

注

コピー品質を選択する時、最高の品質を得るためには、スキャナおよびプリンタの設定を慎重に選択する必要があります。

4 消耗品カウンタのリセット

消耗品カウンタをリセットする時は、以下のようにします。

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 6 >を表示させます。

<画面 6 >

```
! 0 4 ショウモウヒン カウンタ
= ヒ ° ックローラ / ハ ° ット
```

2. <画面 6 >において
ピックアップ消耗品カウンタを表示、リセットしたい時は、◇ または ◇ ボタンで「ピックアップ」を選択して **[Enter]** を押します。
パッド消耗品カウンタを表示、リセットしたい時は、◇ または ◇ ボタンで「パッド」を選択して「Enter」押します。

3. <画面 7 >、<画面 8 >において
それぞれカウンタをリセットしたい時は、◇ または ◇ ボタンで「リセット」を選択して **[Enter]** を押します。

<画面 7 > または <画面 8 > が表示されます。

<画面 7 >

```
! 0 4 - 1 ヒ ° ック カウンタ
= X X X X X X リセット / N o
```

<画面 8 >

```
! 0 4 - 2 ハ ° ット ` カウンタ
= X X X X X X リセット / N o
```

4. <画面 9 >において、
カウンタをリセットしたい時は、「Yes」を選択して **[Enter]** を押します。リセットしたくない時は「No」を選択して **[Enter]** を押します。最後に **[Exit]** を押すと、LCD は「レディ」状態画面に戻ります。

<画面 9 > が表示されます。(実際のリセットはまだです。)

<画面 9 >

```
! 0 4 - 3 リセットシマスカ ?
N o / Y e s
```

カウンタをリセットしたくない時は、「No」を選択して **[Enter]** を押します。最後に **[Exit]** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

5 ピック開始時間の設定

手挿入時のピック開始時間を設定する時は、以下のようにします。

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 10 >を表示させます。

<画面 10 >

!	0	5	ピ	ッ	ク	ス	タ	ー	タ	イ	ム
=			1	.	0	S	e	c			

2. <画面 10 >では、◇ を押してピック開始時間を長くするか、◇ を押してピック開始時間を短くします。

その後 **Enter** を押して設定を有効にします。最後に **Exit** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

6 タイムアウト制限値の設定

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 11 >を表示させます。

<画面 11 >

!	0	6	タ	イ	ム	ア	ウ	ト	セ	ッ	テ	イ
=			3	0	S	e	c					

2. <画面 11 >では、◇ を押して数値を大きくするか、◇ を押して時間切れ制限値を小さくします。

その後 **Enter** を押して設定を有効にします。



工場出荷時の設定は 30 秒です。

3. **Exit** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

7 ADF でのオフセット（オモテ）の設定

8 ADF でのオフセット（ウラ）の設定

9 フラットベッドでのオフセットの設定

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に以下の画面を表示させます。

- ・ ADF でのオモテのオフセットの場合

<画面 12>

!	0 7	AD F	オ フ セ ッ ト	オ モ テ
			ヘ ン コ ウ ?	N o / Y e s

- ・ ADF でのウラのオフセットの場合

<画面 13>

!	0 8	AD F	オ フ セ ッ ト	ウ ラ
			ヘ ン コ ウ ?	N o / Y e s

- ・ フラットベッドでのオフセットの場合

<画面 14>

!	0 9	F B	オ フ セ ッ ト	
			ヘ ン コ ウ ?	N o / Y e s

2. ◇ または ◇ ボタンを押して「Yes」を選択し、**Enter** を押します。

ここでスキャナは<画面 15>を表示します。(x=7、8 または 9)

<画面 15>

!	0 x - 1	シ ョ キ セ ッ テ イ ?		
			N o / Y e s	

3. <画面 15>では、オフセットを工場出荷時設定値に戻したい場合は「Yes」を選択し、そうでない場合は「No」を選択します。

その後 **Enter** を押すと、LCD に以下の画面が表示されます。

- ・ ADF でのオモテのオフセットの場合

<画面 16>

!	0 7 - 2	AD F	オ モ テ	ヨ コ
	H = + 0 . 0	m m (+ : ヒ タ ッ リ)		

- ・ A D F でのウラのオフセットの場合

<画面 17>

```
! 0 8 - 2   A D F   ウラ   ヨコ
H = + 0 . 0 m m ( + : ヒ タ ` リ )
```

- ・ フラットベッドでのオフセットの場合

<画面 18>

```
! 0 9 - 2   F B   ヨコ
H = + 0 . 0 m m ( + : ヒ タ ` リ )
```

4. <画面 16>、<画面 17>、または<画面 18>では、水平方向のオフセットを設定します。

◇ を押してオフセットを大きくするか、◇ を押してオフセットを小さくします。数値の刻みは 0.5mm です。

その後 **[Enter]** を押して設定を有効にします。LCD に以下の画面が表示されます。

- ・ A D F でのオモテのオフセットの場合

<画面 19>

```
! 0 7 - 3   A D F   オモテ   タテ
V = + 0 . 0 m m ( + : ウ エ )
```

- ・ A D F でのウラのオフセットの場合

<画面 20>

```
! 0 8 - 3   A D F   ウラ   タテ
V = + 0 . 0 m m ( + : ウ エ )
```

- ・ フラットベッドでのオフセットの場合

<画面 21>

```
! 0 9 - 3   F B   タテ
V = + 0 . 0 m m ( + : ウ エ )
```

5. <画面 19>、<画面 20>、または<画面 21>では、垂直方向のオフセットを設定します。

◇ を押してオフセットを大きくするか、◇ を押してオフセットを小さくします。

その後 **[Enter]** を押して設定を有効にします。

LCD はセットアップモードの次の項目を表示します。

10 IPC ステータス表示

IPC ステータス表示では、fi-IPC4D（画像処理ボード）、fi-475CMP3（JPEG 圧縮ボード）がインストールされているかどうか、および fi-434PR（インプリンタ）が装着されているかどうかを確認できます。各オプションがインストールされているかどうかの確認は、以下のように行います。

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押します。

fi-IPC4D（画像処理ボード）がインストールされている場合は、＜画面 22＞が表示されます。

＜画面 22＞

!	1	0		I	P	C			
=				I	P	C	-	4	D

fi-IPC4D（画像処理ボード）がインストールされていない場合は、＜画面 23＞が表示されます。

＜画面 23＞

!	1	0		I	P	C			
=								N	O

fi-434PR（インプリンタ）のみ装着されている場合は、＜画面 24＞が表示されます。

＜画面 24＞

!	1	0		I	P	C		P	R	T
=						N	O		O	K

fi-434PR（インプリンタ）と fi-IPC4D（画像処理ボード）が装着されている場合は、＜画面 25＞が表示されます。

＜画面 25＞

!	1	0		I	P	C		P	R	T	
=				I	P	C	-	4	D	O	K

fi-475CMP3（画像圧縮ボード）のみインストールされている場合は、＜画面 26＞が表示されます。

＜画面 26＞

!	1	0		I	P	C		J	P	E	G
=						N	O		O	K	

fi-IPC4D（画像処理ボード）と fi-475CMP3（画像圧縮ボード）がインストールされている場合は、＜画面 27＞が表示されます。

＜画面 27＞

!	1	0		I	P	C		J	P	E	G
=				I	P	C	-	4	D	O	K

fi-434PR（インプリンタ）が装着され、fi-475CMP3（画像圧縮ボード）がインストールされている場合は、＜画面 28＞が表示されます。

＜画面 28＞

!	1	0		I	P	C		P	R	T	J	P	E	G
=						N	O		O	K		O	K	

fi-434PR（インプリンタ）が装着され、fi-IPC4D（画像処理ボード）と fi-475CMP3（画像圧縮ボード）がインストールされている場合は、＜画面 29＞が表示されます。

＜画面 29＞

!	1	0		I	P	C		P	R	T	J	P	E	G
=				I	P	C	-	4	D	O	K		O	K

2. **[Exit]** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

11 低電力モードの設定

1. 「Next」**◇** または「Previous」**◇** を押して、LCD に<画面 30 >を表示させます。

<画面 30 >

!	1	3	ハ	ワ	セ	フ
=		10		15		20 min

2. <画面 30 >では、**◇** または **◇** を押して節電モードへ入るまでの待機時間を選択します。最小 5 分から最大 60 分まで選択できます。その後 **[Enter]** を押して設定を有効にします。



ENERGYSTAR® プログラムが推奨する待機時間は 15 分です。

3. **[Exit]** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

12 インタフェースの選択

1. 「Next」**◇** または「Previous」**◇** を押して、LCD に<画面 31 >を表示させます。

<画面 31 >

!	1	4	イ	ン	タ	フ	ェ	ー	ス				
=			シ	ト	ウ	/	ヒ	ョ	ウ	シ	ュ	ン	/

<画面 31-2 >

!	1	4	イ	ン	タ	フ	ェ	ー	ス			
=			ヒ	ョ	ウ	シ	ュ	ン	/	T	P	S



<画面 31 > および <画面 31-2 > が表示されるのは、スキャナのオプションスロットにオプションボードがインストールされている時だけです。

2. <画面 31 > および <画面 31-2 > では、**◇** または **◇** を押してインタフェースの種類を選択します。設定を変更したい場合は、**[Enter]** を押します。



1. 通常はこの設定を変更する必要はありません。

2. スキャナにオプションボードがインストールされた場合、スキャナは SCSI インタフェースまたは USB インタフェースを自動的に切り、オプションスロットにあるボードを有効にします。画面 31 および 31-2 はこの自動選択状態を止めて、インタフェースの選択を強制的に変更するための設定です。
 3. SCSI インタフェース、USB インタフェースとオプションスロットにインストールされたボードは、同時に使用することはできません。
 4. 工場出荷時の設定は「ジドウ」（自動）になっています。
3. **[Exit]** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

13 TPS インタフェース（オプションボード）の ID 番号表示

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 32 >を表示させます。

<画面 32 >

!	1	5	T	P	S	イ	ン	タ	フ	ェ	ー	ス
	I	D	=	0								

本スキャナに適合するボードがインストールされていれば、スキャナはその ID 番号を表示します。

注

純正オプションのビデオインタフェースボードが正しくインストールされている場合、LCD には「ID = 7」と表示されます。

2. **[Exit]** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

14 内蔵画像処理／IPC-4D 画像処理の選択

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 33 >を表示させます。

<画面 33 >

!	1	6	I	P	C	モ	ー	ト	〃						
=	ス	タ	ン	タ	〃	ー	ト	〃	/	I	P	C	-	4	D

注

オプションボードの IPC-4D がインストールされている時だけ表示されます。

2. <画面 33 >で、◇ または ◇ を押して「スタンダード」か「IPC-4D」を選択します。

「スタンダード」を選択した場合、スキャナ内蔵の画像処理回路が使われます。「IPC-4D」を選択した場合、オプションボードの fi-IPC-4D（画像処理ボード）が使われます。

 注

工場出荷時は「スタンダード」に設定されています。

 注

本スキャナは画像処理回路を内蔵していますが、以下の表に示す画像処理は内蔵の回路でも fi-IPC4D（画像処理ボード）でも行なうことができます。工場出荷時は内蔵の画像処理回路が有効になっています。操作パネルから「IPC-4D」を選択すれば、fi-IPC-4D（画像処理ボード）が内蔵の回路に優先して使用されます。

No	画像処理	fi-IPC4D（画像処理ボード）	内蔵回路
1	強調／平滑化	5 x 5 マトリクス	3 x 3 マトリクス
2	輪郭抽出	プレスレッシュヨルド付ラプラシアン	ラプラシアン
3	簡易自動 2 値	IPC-2 ライク SDTC	3 x 3 最大－最小

fi-IPC4D（画像処理ボード）の機能は IPC-3/3D と互換性があります（画質に関しては非互換）。なお、fi-IPC4D（画像処理ボード）のマトリクスサイズはスキャナ本体の内蔵回路のものより大きく、スキャナ本体の内蔵回路のダイナミックレッシュヨルドには新演算法が採用されています。

15 ADF 縁消し領域の設定

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 34 >を表示させます。

<画面 34 >

```
! 1 7 A D F フ チ ケ シ ハ ン イ  
ヘ ン コ ウ ? N o / Y e s
```

2. <画面 34 >では、◇ または ◇ を押して「Yes」を選択します。

その後 を押すと<画面 35 >を表示します。

<画面 35 >

```
! 1 7 - 1 シ ョ キ セ ッ テ イ  
N o / Y e s
```

3. <画面 35 >では、設定値を工場出荷時に戻したい場合は「Yes」を選択し、そうでない場合は「No」を選択します。

その後 を押すと<画面 36 >を表示します。

<画面 36 >

!	1	7	-	2	A	D	F	ウ	エ
ウ	エ	=			0	m	m		

4. <画面 36 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

数値の刻みは 1 mm です。その後 を押して設定を有効にします。LCD は画面は<画面 37 >を表示します。

<画面 37 >

!	1	7	-	3	A	D	F	シ	タ
シ	タ	=			0	m	m	(+ : ウ エ)

5. <画面 37 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

(+) の時の縁消し領域は、画像の下端から上方へ向かって設定されます。(-) の時の縁消し領域は、画像の下端から下方へ向かって設定されます。数値の刻みは 1 mm です。その後 を押して設定を有効にします。LCD は画面は<画面 38 >を表示します。

<画面 38 >

!	1	7	-	4	A	D	F	ヒ	タ	リ
ヒ	タ	リ	=		0	m	m			

6. <画面 38 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

数値の刻みは 1 mm です。その後 を押して設定を有効にします。LCD は画面は<画面 39 >を表示します。

<画面 39 >

!	1	7	-	5	A	D	F	ミ	キ	リ
ミ	キ	リ	=		0	m	m			

7. <画面 39 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

数値の刻みは 1 mm です。その後 を押して設定を有効にします。LCD はセットアップモードの次の項目を表示します。

16 FB 縁消し領域の設定

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 40 >を表示させます。

<画面 40 >

!	1	8	F B	フ	チ	ケ	シ	ハ	ン	イ
				ヘ	ン	コ	ウ	?	N o	/ Y e s

2. <画面 40 >では、◇ または ◇ を押して「Yes」を選択します。

その後 を押すと<画面 41 >を表示します。

<画面 41 >

!	1	8	- 1	シ	ヨ	キ	セ	ッ	テ	イ
									N o	/ Y e s

3. <画面 41 >では、設定値を工場出荷時に戻したい場合は「Yes」を選択し、そうでない場合は「No」を選択します。

その後 を押すと<画面 42 >を表示します。

<画面 42 >

!	1	8	- 2	F B	ウ	エ
				ウ	エ	= 0 m m

4. <画面 42 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

数値の刻みは 1 mm です。その後を 押して設定を有効にします。LCD は画面は<画面 43 >を表示します。

<画面 43 >

!	1	8	- 3	F B	シ	タ
				シ	タ	= 0 m m (+ : ウ エ)

5. <画面 43 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

(+) の時の縁消し領域は、画像の下端から上方へ向かって設定されます。(-) の時の縁消し領域は、画像の下端から下方へ向かって設定されます。数値の刻みは 1 mm です。その後 を押して設定を有効にします。LCD は画面は<画面 44 >を表示します。

<画面 44 >

!	1	8	- 4	F B	ヒ	タ	`	リ
				ヒ	タ	`	リ	= 0 m m

6. <画面 44 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

数値の刻みは 1 mm です。その後 **Enter** を押して設定を有効にします。LCD は画面は<画面 45 >を表示します。

<画面 45 >

!	1	8	-	5	F	B	ミ	キ	〃
=	ミ	キ	〃	=	0	m	m		

7. <画面 45 >では、◇ または ◇ を押して調整値を設定します。

数値の刻みは 1 mm です。その後 **Enter** を押して設定を有効にします。LCD はセットアップモードの次の項目を表示します。

17 単色読み取り時の読み取り色

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 46 >を表示させます。

<画面 46 >

!	1	9	ヨ	ミ	ト	リ	シ	ヨ	ク	セ	ン	タ	ク
=	R	/	G	/	B								

2. <画面 46 >では、◇ または ◇ を押して光源を選択します。

その後 **Enter** を押して設定を有効にします。



注

1. ホストからの指定が優先されます。
2. 工場出荷時は「G」（緑）に設定されています。
3. **Exit** を押すと、LCD は「レディ」画面に戻ります。

18 グレーモードの設定

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に<画面 47 >を表示させます。

<画面 47 >

!	2	0	ク	〃	レ	-	モ	ー	ト	〃	
=	ツ	ウ	シ	〃	ヨ	ウ	/	コ	ウ	ソ	ク

2. <画面 47 >では、◇ または ◇ を押して、「ツウジョウ」、「コウソク」を選択します。

「ツウジョウ」とは”通常モード”のことです。「ツウジョウ」を選択すると”速度優先モード”より、高画質で読み取りが行われます。

「コウソク」とは”速度優先モード”のことです。「コウソク」を選択すると本装置のデフォルトの画質、速度で読み取りが行われます。

なお、＜画面 47＞の下段表示は以下のように切り替わります。

1. 「ツウジョウ／コウソク」が表示され、”ツウジョウ”が点滅。

2. 「ツウジョウ／コウソク」が表示され、”コウソク”が点滅。

上記 1.2 の表示切替えは、以下のように行います。

◇を押す：＜画面 47＞の下段表示が、2→1へ切り替わります。

◇を押す：＜画面 47＞の下段表示が、1→2へ切り替わります。

速度、画質の関係は、以下のような関係になっています。

速度：2 > 1、画質：1 > 2

なお、このモードを変更しても、カラー、二値読み取りには影響はありません。

3. その後、**[Enter]**を押して設定を有効にします。

LCD はセットアップモードの次の項目を表示します。

19 インプリンタオプションのインク残量カウンタのリセット

この機能は、インク残量カウンタのリセットを行います。

プリントカートリッジを取り付けますと、文字が印刷される毎に自動的にインク残量カウンタがカウントされ、残量が少なくなると、操作パネルにメッセージ「インクザンリョウ チュウイ」が表示されません（読み取り動作中）。

このメッセージが表示されましたら、新しいインクカートリッジを準備してください。印字できない状態になりましたら、プリントカートリッジを交換するとともに、”インク残量カウンタリセット”の操作を行ってください。アラームが発生する前にプリントカートリッジを交換された場合も”インク残量カウンタリセット”の操作を行ってください。

1. 「Next」◇ または「Previous」◇ を押して、LCD に＜画面 48＞を表示させます。

最初は No が点滅しています。

＜画面 48＞

!	2	1	イ	ン	ク	サ	ン	リ	ョ	ウ
=	■	□	□	□	□	リ	セ	ツ	/	N o

2. ◇を押します。

リセットが点滅します。

＜画面 49＞

!	2	1	イ	ン	ク	サ	ン	リ	ョ	ウ
=	■	□	□	□	□	リ	セ	ツ	/	N o

3. **Enter** を押します。リセット実行画面が表示されます（＜画面 50＞）。
最初は No が点滅しています。

＜画面 50＞

```
! 2 1 - 1   リセ ッ ト シ マ ス カ ?
                N o / Y e s
```

4. **◇** を押します。
Yes が点滅します（＜画面 51＞）。

＜画面 51＞

```
! 2 1 - 1   リセ ッ ト シ マ ス カ ?
                N o / Y e s
```

5. **Enter** を押してリセット処理を実行します（＜画面 52＞）。
残量表示が■■■■■■■に戻ります。

＜画面 52＞

```
! 2 1   インクサ ` ンリョウ
= ■ ■ ■ ■ ■   リセ ッ ト / N o
```

6. **Exit** を押します。
「レディ」画面に戻ります。

＜画面 53＞

```
レ テ ` イ   X X X X
                X X X X 0 >
```

20 インプリンタオプションの番号印刷の設定

インプリンタ装着時に、オペレータパネルから番号印刷の指定を行うことができます。
カウンタは、用紙 1 枚読み取り毎に+1（インクリメント）されます。
印刷開始位置は、上端から 7mm になります。

1. 「Next」**◇** または 「Previous」**◇** を押して、LCD に＜画面 54＞を表示させます。

＜画面 54＞

```
! 2 2   ハ ` ン コ ` ウ イン サ ツ
=           O n / O f f
```

2. <画面 54 >では、◇ または ◇ を押して「On」を選択します。

その後、**Enter** を押すと<画面 55 >を示し、オペレータパネルからの指定が有効になります。

<画面 55 >

!	2	2		ハ	ン	コ	ウ	イン	サ	ツ
=				ホ	ス	ト	シ	テ	イ	

 注 オペレータパネル指定が無効の時は、<画面 56 >の表示になります。

<画面 56 >

!	2	2	-	1		ケ	タ	ス	ウ	
=						5	/		8	

3. <画面 55 >では、印刷番号桁数を選択します。

◇ または ◇ を押して、5 桁または 8 桁のいずれかを選択します。その後、**Enter** を押すと<画面 57 >を表示します。

<画面 57 >

!	2	2	-	2		ハ	ン	コ	ウ	シ	ヨ	キ	チ
=		0	0	0	0	0	0	0	0				

4. <画面 57 >では、印字番号の初期値を設定します。

◇ または ◇ を押して点滅桁の位置（変更対象位置）を、「Next」◇ または「Previous」◇ を押して変更対象桁の位置を変更できます。

その後、**Enter** を押すと<画面 58 >を示します。

<画面 58 >

!	2	2	-	3		ヨ	ウ	シ	ナ	シ		リ	セ	ツ	ト
=						O	n	/	O	f	f				

(注) 番号設定値は、最大値（5 桁時：99999 / 8 桁時：16777215）を超えると表示が変化しなくなります。

5. <画面 58 >では、ホッパエンプティ時に印字番号を初期化するかどうかを選択します。

初期化する場合は、◇ または ◇ を押して「On」を選択します。

その後、**Enter** を押すと<画面 59 >を表示します。

<画面 59 >

!	2	2	-	4		リ	セ	ツ	シ	マ	ス	カ	?
=						N	o	/	Y	e	s		

6. <画面 59 >では、印字する番号を直ちに初期値設定に初期化するかどうかを選択します。

初期化する場合は、◇ または ◇ を押して「Yes」を選択します。

その後、**Enter** を押すと、セットアップモードを終了します。



注

ホストからのコマンド指定がオペレータパネルの指定よりも優先されます。オプションボードスロットからのコマンド指定により、オペレータパネルの指定が無効になっている場合は、＜画面 59＞は表示されません。

9

困ったときに

この章では、スキャナ使用時に問題が起こったときの対処方法について説明しています。

困った時には 9-2

困った時には

ここでは、スキャナ使用時に起こりうる問題と、その対処方法を説明しています。
以下のような問題が発生した場合は、該当の参照先をご覧ください。

- ・電源が入らない..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・操作パネルの表示が消える..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・読み取りが開始されない..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・絵や写真の読み取り結果がよくない
..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・文字や線の読み取り結果がよくない
..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・画像が歪む、または鮮明でない
..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・読み取った画像に縦縞がでる... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・「Check」LEDが点灯する..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・LCDに「ピックアップ ノ セイソウ」と表示される
..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・LCDに「ADF ガラス ノ セイソウ」と表示される
..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・マルチフィードが頻繁におこる
..... 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。

- ・ピックミスが頻繁におこる 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。
- ・頻繁に紙詰まりがおこる 清掃と保守のガイドの第4章「困ったときには」を参照してください。

 注

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または担当サービスまでご連絡ください。

10

消耗品とオプション

この章では、スキャナの消耗品、およびオプションについて説明しています。

消耗品	10-2
本スキャナのオプション	10-3
fi-475VI（ビデオインタフェースボード）について	10-4
fi-IPC4D（画像処理ボード）について.....	10-9
fi-434PR（インプリンタ）について	10-10
fi-475CMP3（画像圧縮ボード）について.....	10-11

消耗品

本スキャナの消耗品は、お客様自身で交換していただきます。以下の表に、スキャナに使用する消耗品とその寿命を示します。適当数の消耗品をストックし、定期的に交換してください。交換は、以下の表に示す寿命のガイドラインおよび CD-ROM 内の「清掃と保守のガイド」に従ってください。これらを推奨通りに交換しなかった場合、スキャナは適正に機能しないことがあります。部品の交換時期は、読み取った原稿の総枚数を消耗品カウンタで確認して判断してください。

名称	仕様	商品番号	寿命（ガイドライン）
パッド ASSY	PA03277-0002	0961143	10 万枚または 1 年まで
ピックローラ	PA03277-0001	0961144	20 万枚または 1 年まで (2 個のローラ共に)

消耗品の詳細については、スキャナをご購入された販売会社または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。



注

消耗品の交換については、「清掃と保守のガイド」を参照してください。



ご注意

ある特定の用紙をご使用の場合、またはご使用の条件によっては、消耗品の寿命が短くなる場合があります。

本スキャナのオプション

以下の表に、本スキャナのオプションを示します。

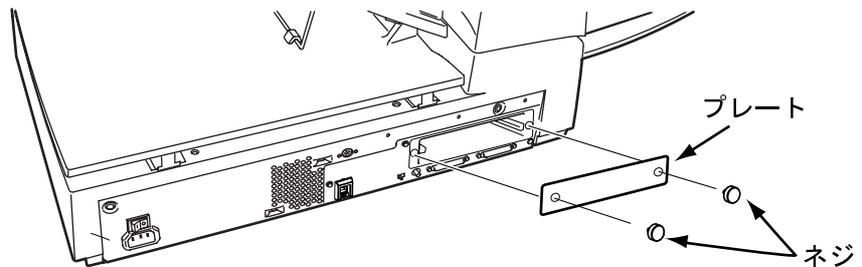
品名	P/N
fi-475VI (ビデオインタフェースボード)	CA02956-2392
fi-IPC4D (画像処理ボード)	CA02919-0523
fi- 434PR (インプリンタ)	PA03237-D104
fi- 475CMP3 (画像圧縮ボード)	CA02956-2398

詳細については、スキャナをご購入された販売会社または当社にお問い合わせください。

fi-475VI（ビデオインタフェースボード）について

■ fi-475VI（ビデオインタフェースボード）の取り付け方

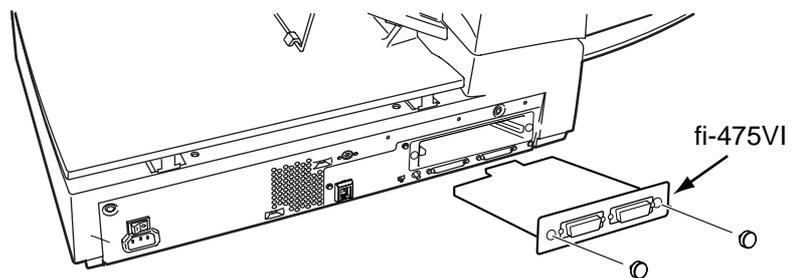
- 1** 2箇所のねじをゆるめて、プレートを取り外します。



⚠️ ご注意

オプションスロットのプレートを取り外す前に、必ず装置の電源を切ってください。

- 2** オプションスロットのレールに沿って、ボードを挿し込みます。コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。
ボードを2つのねじで固定します。



⚠️ ご注意

静電気による損傷を防ぐために、ボードの取り扱いには十分注意してください。

📌 注

スキャナの電源を再び入れると、スキャナは fi-475VI（ビデオインタフェースボード）を自動的に認識します。

■ fi-475VI（ビデオインタフェースボード）搭載時の読み取りモードの設定

ここでは、スキャナのオプションスロットに fi-475VI（ビデオインタフェースボード）が取り付けられている時の、読み取りモードの設定について説明しています。

ホストコンピュータからのコマンドによって読み取りモードを設定する時は、以下のボタン操作は必要ありません。

注

fi-475VI（ビデオインタフェースボード）がスキャナに取り付けられると、スキャナはボードを自動的に認識し、LCD の表示を変更します。

Exit を押せばいつでも、スキャナは <画面 M1 > に戻ります。

1. 電源を入れ、LCD に「レディ」の表示があることを確認します。

<画面 M1 >

```
レ デ ィ                      X X X X
X X X X X 0 >
```

2. **Next** を押すと、スキャナは<画面 M2 >を表示します。

<画面 M2 >

```
モ ー ト ` セ ン タ ク 0
ヨ ミ ト リ モ ー ト `
```

3. **Enter** を押すと、スキャナは<画面 1 > を表示します。

<画面 1 >

```
ヨ ミ ト リ
0 1
= A D F / F B
```

4. **◇ または ◇** を押して「ADF」か「FB」（フラットベッド）を選択してから、**Enter** を押します。

スキャナは<画面 2 > を表示します。

<画面 2 >

```
ヨ ミ ト リ メ ン
0 2
= オ モ テ メ ン / リ ヨ ウ メ ン
```

5. ◇ または ◇ を押して「オモテメン」(片面)か「リョウメン」(両面)を選択します。

その後 を押します。スキャナは<画面 3>を表示します。

<画面 3>

<input type="checkbox"/>	0 3	ケ	ン	コ	ウ	ホ	ウ	コ	ウ
=	タ	テ	/		ヨ	コ			

6. ◇ または ◇ を押して「縦置き」か「横置き」を選択します。

その後 を押します。スキャナは<画面 4>を表示します。

<画面 4>

<input type="checkbox"/>	0 4	ケ	ン	コ	ウ	サイ	ス		
=	A	4	/	A	5	/	B	5	

7. ◇ または ◇ を押して原稿のサイズを選択します。

その後 を押します。スキャナは<画面 5>を表示します。

<画面 5>

<input type="checkbox"/>	0 5	ミ	ツ	ト					
=	2	0	0	/	2	4	0	/	3 0 0 / 4 0 0

8. ◇ または ◇ を押して密度(解像度 dpi)を選択します。

カーソルを左に移動すると、100 や 150 を表示することができます。

その後 を押します。スキャナは<画面 6>を表示します。

<画面 6>

<input type="checkbox"/>	0 6	ノ	ウ	ト		(オ	モ	テ)					
=	A	T	2	/	■	■	□	/	■	▲	□	/	■	□	□

9. ◇ または ◇ を押してオモテ面の濃度を選択します。

カーソルを左に移動すると、■ ■ ■ や ■ ■ ▲ や AT1 を表示することができます。

その後 を押します。スキャナは<画面 7>を表示します。

<画面 7>

<input type="checkbox"/>	0 7	ノ	ウ	ト		(ウ	ラ)						
=	A	T	2	/	■	■	□	/	■	▲	□	/	■	□	□

密度表示

IPC-4D オプション無し	IPC-4D オプション有り	説明
■ ■ ■ ■ ■ ▲	■ ■ ■ ■ ■ ▲ AT1 (*) AT2 (*)	かなり濃い 濃い 自動 (DTC モード : 動的閾値) 単純自動 (IPC モード : 単純動的閾値)
■ ■ □ ■ ▲ □ ■ □ □	■ ■ □ ■ ▲ □ ■ □ □	普通 薄い かなり薄い

*) これらのパラメータは fi-IPC4D (画像処理ボード) が搭載されている時だけ表示されます。

10. ◇ または ◇ を押してウラ面の密度を選択します (「両面」を選択した場合)。

カーソルを左に移動すると、■ ■ ■ や ■ ■ ▲ や AT1 を表示することができます。

その後を を押します。スキャナは <画面 8 > を表示します。

<画面 8 >

<input type="checkbox"/> 0 8	ハ	ー	フ	ト	ー	ン	(オ	モ	テ)			
=	N	o	/	H	1	/	H	2	/	L	1	/	L	2

11. ◇ または ◇ を押してオモテ面の中間調処理を選択します。

パラメータ	説明
No	中間調処理がオフです。従って、2 値読み取りが指定されます。
H1	ディザによる中間調処理が指定されます。
H2	誤差拡散による中間調処理が指定されます。
L1 (*)	ディザによる自動像域分離が指定されます
L2 (*)	誤差拡散による自動像域分離が指定されます。

*) これらのパラメータは fi-IPC4D (画像処理ボード) が搭載されている時だけ表示されます。

その後 を押します。スキャナは <画面 9 > を表示します。

<画面 9 >

<input type="checkbox"/> 0 9	ハ	ー	フ	ト	ー	ン	(ウ	ラ)				
=	N	o	/	H	1	/	H	2	/	L	1	/	L	2

12. ◇ または ◇ を押してウラ面の中間調処理を選択します（「両面」が指定された場合）。
パラメータは、11の場合と同じです。

その後 **Enter** を押します。スキャナは<画面 10>を表示します。

<画面 10>

1 0 ケ ` ン コ ウ タ イ フ ° オ モ テ
= L . セ ン カ ` / P . シ ャ シ ン

13. ◇ または ◇ を押してオモテ面の原稿の種類を選択します。

パラメータ	説明
L. (Line)	白レベルがオンです。原稿の先端部 3mm 部分は空白のままになっている必要があります（背景色はドロップアウトカラー）。線画または文字データの読み取りに使用してください。
P. (Photo)	白レベルがオフです。写真の読み取りに使用してください。

その後 **Enter** を押します。スキャナは<画面 11>を表示します。

<画面 11>

1 0 ケ ` ン コ ウ タ イ フ ° ウ ラ
= L . セ ン カ ` / P . シ ャ シ ン

14. ◇ または ◇ を押してウラ面の原稿の種類を選択します（「両面」が指定された場合）。
パラメータは 13の場合と同じです。

その後 **Enter** を押します。スキャナは<画面 12>を表示します。

<画面 12> (例)

M	D	F	A	4	<input type="checkbox"/>	4	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	H	1	P
D	B	A	4	<input type="checkbox"/>	4	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	H	1	P	

濃度 (解像度dpi) 中間調 線画または写真
 密度
 縦置き または横置き
 用紙サイズ
 オモテ (F) またはウラ (B)
 片面 (S) または両面 (D)

15. 指定した内容を確認します。変更が必要なパラメータがある場合は、**Enter** または **Previous** を押して画面を選択し、◇ または ◇ を押してパラメータを選択し直します。

最後に **Enter** を押します。全てのパラメータの確認が終わったら、**Exit** を押して「レディ」画面に戻ります。

fi-IPC4D（画像処理ボード）について

fi-IPC4D（画像処理ボード）は、以下の画像処理を行います。

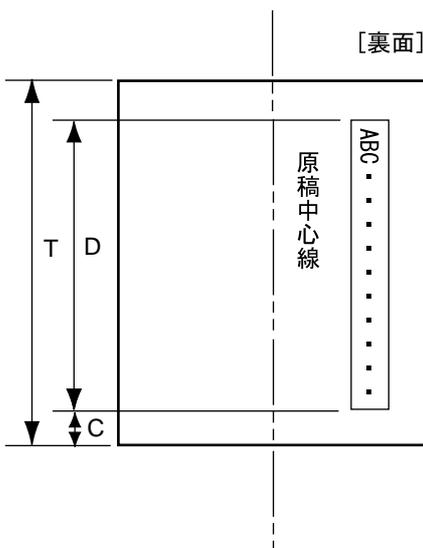
項目	説明
プレ・フィルタ Pre-Filter	ボールペンモード： ボールペンの線を一本の太い線に平滑化します。
背景除去 Background Removal	帳票の背景に使われる網点階調や薄いディザを除去します。
自動二値 Dynamic Threshold	自動二値： 二値化しきい値を自動的に最適になるように調整します。文字を背景から分離し、コントラストの良い画像とします。 IPC-2 互換自動二値： 二値化しきい値を、文字の先鋭さを残して自動的に最適になるように調整します。
ゴミ取りモード Noise Removal	用紙上のゴミ（孤立点）を自動的に検出し、除去します。 2 × 2 から 5 × 5 サイズが選択できます。
自動像域分離 Auto Separation	自動像域分離処理： 自動的に文字・写真領域を識別し、文字部には二値化処理、写真部には中間調処理を行います。
輪郭抽出 Outline Extract	輪郭抽出処理： 画像の輪郭部を抽出します。
輪郭強調 Image Emphasys	強調処理（低／中／高／平滑化）： 輪郭を強調します。

注

fi-IPC4D（画像処理ボード）のインストールおよび機能については、fi-IPC4D に同梱のマニュアルを参照してください。

fi-434PR（インプリンタ）について

fi-434PR（インプリンタ）の仕様を以下に示します。

項目	説明
印字方式	サーマルインクジェット
印字文字	アルファベット : A ~ Z, a ~ z 数 字 : 0, 1 ~ 9 記 号 : ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ' { } ~
最大印字文字数	40
文字サイズ	縦 2.91mm × 横 2.82mm
文字ピッチ	約 3.53mm
印字領域	<p>原稿の裏面の印字可能領域を以下に示します。</p> <p>T 帳票の長さ $D \leq 140.5\text{mm}$ (40 桁時) $C \geq 70.0\text{mm}$</p> <p>$T - (C + D) \geq 7\text{mm}$</p> 
消耗品	プリントカートリッジ（サプライ番号：0330610）

fi-434PR（インプリンタ）のインストールおよび機能については、fi-434PR に同梱のマニュアルを参照してください。

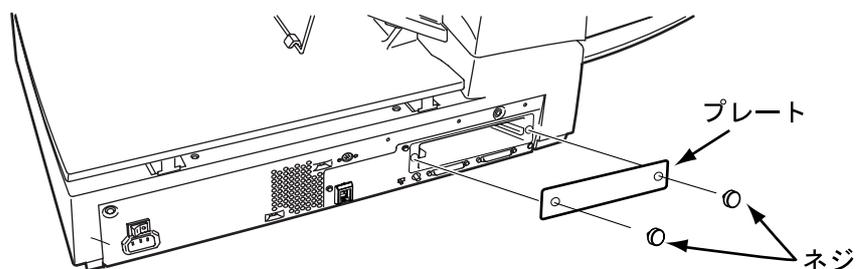
fi-475CMP3（画像圧縮ボード）について

fi-475CMP3（画像圧縮ボード）の仕様を以下に示します。

項目	説明
規格	ISO/IEC 10918-1 JPEG standard baseline process に準拠しています。
対応フォーマット	グレースケールおよびカラー多値画像（JPEG）に対応しています。
読み取り範囲	A3 両面 /600dpi まで圧縮が可能です。
圧縮処理	リアルタイム両面圧縮処理（最大 15M 画素 / 秒）ができます。
JPEG 圧縮率	圧縮率小（画質優先）～圧縮率大（サイズ優先）で 7 段階の指定ができます。 （量子化テーブル内蔵 7 種類 サンプル比は 4 : 4 : 4 固定）
その他の機能	量子化テーブルのダウンロード機能があります。
装着	スライドイン構造により、ユーザ装着が簡単に行えます。

■ fi-475CMP3（画像圧縮ボード）の取り付け方

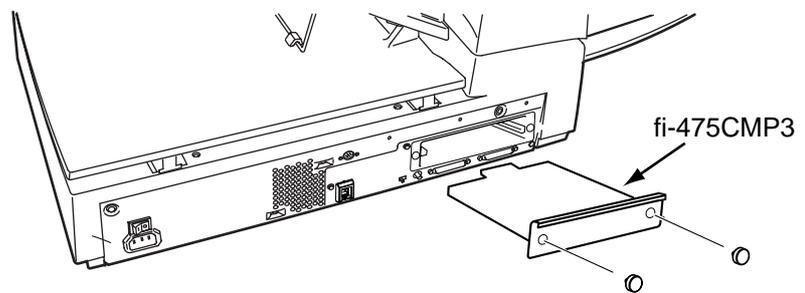
- 1** 2箇所（矢印）のねじをゆるめて、プレートを取り外します。



ご注意

オプションスロットのプレートを取り外す前に、必ず装置の電源を切ってください。

- 2** オプションスロットのレールに沿って、ボードをしっかり挿し込み、2つのねじで固定します。



⚠ **ご注意**

静電気による損傷を防ぐために、ボードの取り扱いには十分注意してください。

11

スキャナの仕様

この章では、スキャナの基本的な仕様、設置仕様および外形寸法について説明しています。

装置基本仕様	11-2
設置仕様	11-3
外形寸法	11-4

装置基本仕様

1	スキャナタイプ		自動給紙方式 (ADF) + フラットベッド	
2	イメージセンサ		CCD x 2	オモテ / ウラ
3	光源		白色キセノン蛍光管 x 2	オモテ / ウラ
4	読み取り範囲	最小	A8 (縦置き)	110kg 紙
		最大	A4 もしくはレター (フラットベッド)、 リーガル (ADF)	
5	原稿厚さ		45 kg ~ 110 kg	(* 1)
6	読み取り速度 (A4 縦) (* 2)	モノクロ	片面 40 枚 / 分、両面 80 面 / 分 (200 dpi)	
		カラー	片面 34 枚 / 分、両面 48 面 / 分 (150 dpi)	
7	ホッパの容量		100 枚 (A4, 64 g/m ² (20 lb))	(* 3)
8	光学解像度		600 dpi	
9	出力解像度 (* 4)	バイナリ	50 ~ 800 dpi	1 dpi ごとに変倍可能
		グレイスケール	50 ~ 600 dpi	1 dpi ごとに変倍可能
		カラー	50 ~ 600 dpi	1 dpi ごとに変倍可能
10	読み取り階調		1024 階調 (10 ビット)	
11	出力モード		ディザ / 誤差拡散	
12	その他の機能		JPEG 圧縮	(* 5)
13	インタフェース (* 6)		SCSI-2	シールド型 50 ピン (ピンタイプ) ハーフピッチ
			USB2.0	
			サードパーティスロット	(* 7)

- * 1) 詳細は“6 自動給紙 (ADF) をお使いいただく際に”に記述されています。
- * 2) 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
- * 3) 最大枚数は用紙の厚さによって変わります。“6 自動給紙 (ADF) をお使いいただく際に”を参照してください。
- * 4) 読み取り領域の大きさおよび両面 / 片面の指定により、指定可能な最大解像度が異なる場合があります。
- * 5) fi-475CMP3 (画像圧縮ボード) 装着時のみ動作可能です。
- * 6) USB、SCSI-2 およびサードパーティスロットのインタフェースは同時に使うことができません。
- * 7) オプションスロットの電力消費は以下としてください。
 低電力モード時 : 0.35 A 以下
 fi-IPC4D (画像処理ボード) 装着無し : 1.5 A 以下
 fi-IPC4D (画像処理ボード) 装着有り : 3.0 A 以下

設置仕様

本スキャナの設置条件に関する仕様を以下の表に示します。

項目		仕様		
外形寸法 (mm) (ADF シュートとスタッカ除く)		奥行き	幅	高さ
		423	556	220
重量 (kg)		15		
入力電源	電圧範囲	AC100 ~ 120 V ± 10 %、AC220 ~ 240V ± 10%		
	相	単相		
	周波数範囲	50/60 ± 3 Hz		
消費電力		125 VA 以下		
動作環境	装置状態	動作中	非使用時	
	温度	5 ~ 35 °C	- 20 ~ 60 °C	
	湿度	20 ~ 80 %	8 ~ 95 %	
発熱量		110 kcal/H		
出荷時重量 (kg)		19		
装置寿命		5年または200万枚		

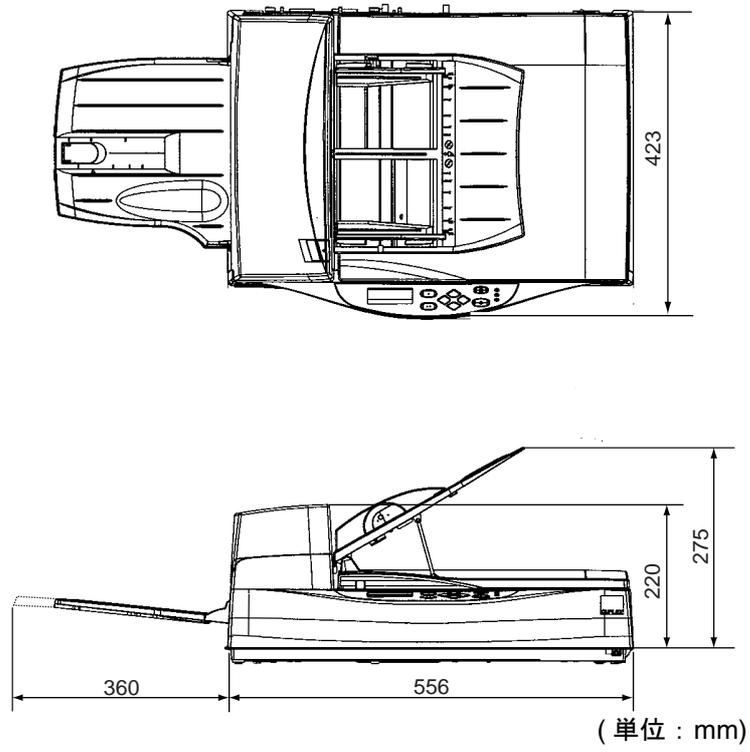
注

本装置の寿命は、お買い上げ後5年、またはご使用枚数200万枚のいずれか早い方となります。ご使用枚数については、ライフカウンタの数字を目安にしてください。ライフカウンタの見方については、「7 操作パネルのメッセージについて」の「カウンタ表示 (7-2)」を参照してください。

注

寿命を超えてご使用された場合、装置の故障、または読み取り性能に支障が出る場合があります。

外形寸法



索引

あ行

IPC	
ステータス	8-3, 8-11
プリセット	8-3
アラーム	7-6
一時的なエラー	7-5
インク残量カウンタ	8-19
インタフェース	
コネクタ	2-3, 2-4
選択	8-13
ADF	2-3, 2-4
給紙シュート	2-3
モード	7-5
レバー	2-3, 2-4
Exit ボタン	2-7
LED	2-7
Enter ボタン	2-7
オプションスロット	2-3, 2-4
オプション	10-3
オフセット設定	8-3, 8-10
オペレータガイド	1-2, 2-2

か行

外形寸法	11-3
環境条件	11-3
給紙方向	6-2
グレーモードの設定	8-18
ケーブルの接続	3-3
原稿台	2-3, 2-4
原稿の紙厚	6-3
検査 (構成部品)	1-2, 2-2
梱包品の確認	2-2

さ行

事前のご注意	6-3
重量	11-3
仕様	11-3
消費電力	11-3
消耗品カウンタ	7-2
リセット	8-8
スキャナ	1-2, 2-2
Start ボタン	2-7

スタッカ	2-3
Stop ボタン	2-7
寸法	11-4
設置仕様	11-3
設定	
インプリンタ	8-19, 8-20
グレーモード	8-18
IPC ステータス表示	8-11
TPS インタフェース (オプション ボード) の ID 番号表示	8-14
IPC プリセットモード	8-7
インタフェースの選択	8-13
オフセット	8-10
消耗品カウンタのリセット	8-8
タイムアウト制限値	8-9
マルチフィード検出	8-5, 8-6
単色読み取り時の読み取り色	8-18
低電力モード	8-13
内蔵画像処理 / IPC-4D 画像処理 の選択	8-14
ピックアップ開始時間	8-9
縁消し領域 (ADF / FB)	8-15, 8-17
セットアップモード	8-2, 8-3
起動	8-2
内容	8-3
操作ステータス	7-2
操作パネル	2-3

た行

タイムアウト制限値	8-9
マルチフィード	
エラー	7-5
検出 (紙厚)	8-5
検出 (紙の長さ)	8-6
単色読み取り時の読み取り色	8-18
中間調処理	10-8
TPS インタフェース (オプション ボード) の ID 番号表示	8-14
低電力モードの設定	8-13
手挿入モード	2-7, 5-4
電源	
インレット	2-3, 2-4
ケーブル	1-2, 2-2
スイッチ	3-5, 5-4

切断	3-5
投入	5-4
ドキュメント	
押さえパッド	2-3, 2-4
紙質	6-3
種類	5-6, 6-3
寸法	6-2
取り外し可能部品	2-4

な行

内蔵画像処理／IPC-4D 画像処理の 選択	8-14
入力電源	11-3
Next ボタン	2-7

は行

はじめに	1-2
パッド ASSY	10-2
発熱量	11-3
番号印刷	8-20
ピック	
開始時間	8-3, 8-9
ローラ	2-4, 10-2
縁消し領域 (ADF/FB)	8-15, 8-17
Previous ボタン	2-7

や行

輸送レバー	3-3
ユニット	2-3
ユニットと取り外し可能部品	2-3
読み取り	
面	10-6
モード	10-5
読み取り色選択 (単色読み取り時)	8-18
読み取り枚数カウンタ	7-2

ら行

ライフカウンタ	7-2
ラベル	
A	3-2
B	3-2

両面

ウラ面読み取りモード	10-6
オモテ面読み取りモード	10-6
読み取りモード	10-6

その他

(左カーソル) ボタン	2-7
(右カーソル) ボタン	2-7
(Enter) ボタン	2-7
(Exit) ボタン	2-7
(Next) ボタン	2-7
(Previous) ボタン	2-7
(Send To) ボタン	2-7
(Start) ボタン	2-7
(Stop) ボタン	2-7

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

1. 定額訪問修理サービス

機器の故障発生時には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

2. 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

1. センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中に代替機を貸出します。 （引き取りと併用）

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

2. オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間＝1時間まで）＋部品費＋オプション料金＋加算料金（技術料金、その他加算料金）
-------------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージング サービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120 - 37 - 9089 042 - 788 - 7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または
PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 消耗品の購入先

パッドユニットなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、
または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

電話お問い合わせ受け付け時間：月～金／9：00～17：30（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

- 本製品の修理はお客様自身ではおこなわないでください。
- 本製品の保証条件については製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
保証書には所定事項をご記入の上大切に保管願います。
- 本製品の修理部品の最低供給期間は製品の製造打ち切り後5年間です。

fi-4340C イメージスキャナ オペレータガイド

P3PC-E832-06

発行日 2006年6月

発行責任 株式会社 PFU

- ・本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております
- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります
- ・本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません
- ・本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規定をご覧ください
- ・本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です